

## 商標

Autel®、MaxiSys®、MaxiDAS®、MaxiScan®、MaxiTPMS®、MaxiRecorder®およびMaxiCheck®は、Autel Intelligent Technology Corp.、Ltd.の商標であり、中国、米国およびその他の国で登録されています。他のすべてのマークは、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

## 著作権情報

Autelの事前の書面による許可なしに、このマニュアルのいかなる部分も、電子的、機械的、写真複写、記録など、いかなる形式または手段によっても、複製、検索システムに保存、または送信することはできません。

## 保証の免責および責任の制限

このマニュアルのすべての情報、仕様、図は、印刷時に入手可能な最新情報に基づいています。

Autelは、予告なしにいつでも変更を行う権利を留保します。このマニュアルの情報の正確性については慎重に確認されていますが、製品の仕様、機能、および図の完全性および正確性については保証されません。

Autelは、直接的な損害、特別な損害、偶発的な損害、間接的な損害、または経済的損害（利益の損失を含む）に対する責任を負いません。

---

**重要：**このユニットを操作または保守する前に、このマニュアルを注意深く読み、安全上の警告と注意事項に特に注意してください。

---

## サービスとサポートの場合：



pro.autel.com  
www.autel.com



1-855-288-3587 / 1-855-AUTELUS（北アメリカ）  
0086-755-86147779（中国）



Support@autel.com

他のすべての市場での技術支援については、お近くの販売店にお問い合わせください。

---

# 安全情報


あなた自身の安全と他者の安全のため、また使用される装置と車両の損傷を防ぐために、このマニュアル全体で示されている安全上の注意事項を、操作または接触するすべての人が読んで理解することが重要です。


車両を整備するためのさまざまな手順、技術、ツール、および部品が必要であり、作業を行う人のスキルも必要です。この装置でテストできる製品には膨大な数のテストアプリケーションとバリエーションがあるため、あらゆる状況に対応するためのアドバイスや安全メッセージを予測または提供することはできません。テスト対象のシステムに精通することは、自動車技術者の責任です。適切な保守方法とテスト手順を使用することが重要です。あなたの安全、作業エリアの他の人の安全、使用中のデバイス、またはテスト中の車両を危険にさらさない適切で許容可能な方法でテストを実行することが不可欠です。

デバイスを使用する前に、テスト対象の車両または機器のメーカーが提供する安全メッセージと適用可能なテスト手順を常に参照して、それに従ってください。このマニュアルに記載されている方法でのみデバイスを使用してください。このマニュアルのすべての安全メッセージと指示を読み、理解し、従ってください。

## 安全メッセージ


人体への傷害および機器の損傷を防ぐために、安全メッセージが提供されています。すべての安全メッセージは、危険レベルを示す注意喚起語で紹介されています。

 **危険**：回避しないと、オペレーターまたは傍観者に死亡または重傷をもたらす差し迫った状況を示します。

 **警告**：回避しないと、オペレーターまたは傍観者が死亡または重傷を負う可能性がある状況を示します。

## 安全指示

本書の安全メッセージは、Autel が認識している状況をカバーしています。Autel は、可能性のあるすべての危険を評価または推奨することができません。発生した状態やサービス手順が遵守されていることを確認する必要があります。

 **危険**：エンジンが作動しているときは、サービスエリアを十分に換気するか、建物の排気システムをエンジンの排気システムに取り付けてください。エンジンは無臭の有毒ガスである一酸化炭素を生成し、反応時間が遅くなり、重傷や人命の損失につながる可能性があります。

**ヘッドフォンを使用するときに音量を上げすぎないでください**

長時間にわたって耳を過度に刺激する大音量で聴くと、聴力が失われる可能性があります。

**安全上の警告：**

- 常に安全な環境で自動車試験を実施してください。
- ANSI 規格に適合する安全保護具を着用してください。
- 衣服、髪、手、道具、試験装置などを、すべての可動部品または高温の
- エンジン部品に近づけないでください。
- 排気ガスは有毒なので、換気の良い作業エリアで車両を操作してください。
- トランスミッションをパーク（オートマチックトランスミッション）またはニュートラル（マニュアルトランスミッション）に入れ、パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
- 駆動輪の前にブロックを置き、テスト中は車両から離れないでください。
- イグニッションコイル、配電キャップ、イグニッションワイヤやスパークプラグ周辺での作業には細心の注意を払う必要があります。これらの部品は、エンジンの稼働中に危険な電圧を生成します。
- ガソリン、化学薬品、および電気の火災に適した消火器を近くに置いてください。
- イグニッションがオンになっているとき、またはエンジンが稼働しているときは、テスト機器を接続したり切断したりしないでください。
- テスト機器を乾燥した清潔な状態に保ち、油、水、またはグリースを含まないようにします。必要に応じて、清潔な布に中性洗剤を使用して、機器の外側を清掃します。
- 車両を運転すると同時にテスト機器を操作しないでください。注意が逸れ、事故を引き起こすことがあります。
- サービス対象の車両のサービスマニュアルを参照し、すべての診断手順と注意事項に従ってください。従わない場合、人身傷害または試験装置の損傷につながる可能性があります。
- テスト機器の損傷や誤ったデータの生成を防ぐため、車両のバッテリーが完全に充電され、車両の DLC への接続がきれいで安全であることを確認してください。
- テスト機器を車両のディストリビューターに置かないでください。強い電磁干渉は機器を損傷する可能性があります。

---

# 目次

<b>第1章 このマニュアルの使用</b> .....	<b>7</b>
1.1 規則 .....	7
1.1.1 太字 .....	7
1.1.2 注 .....	7
1.1.3 重要 .....	7
1.1.4 ハイパーリンク .....	7
1.1.5 手順 .....	7
<b>第2章 概説</b> .....	<b>8</b>
1.2 MAXISYS MS906 ディスプレイタブレット .....	8
1.2.1 機能説明 .....	8
1.2.2 動力源 .....	10
1.2.3 技術仕様 .....	11
1.3 アクセサリーキット .....	13
1.3.1 メインケーブル .....	13
1.3.2 OBD I アダプター .....	13
1.3.3 その他のアクセサリ .....	14
<b>第3章 スタートするには</b> .....	<b>15</b>
1.4 パワーアップ .....	15
1.4.1 アプリケーションボタン .....	16
1.4.2 ロケーターおよびナビゲーションボタン .....	17
1.4.3 システムステータスアイコン .....	18
1.5 パワーダウン .....	19
1.5.1 再起動システム .....	20
1.6 コンピューターソフトウェアのインストール .....	20
1.6.1 印刷操作 .....	20
<b>第4章 診断操作</b> .....	<b>21</b>
1.7 車両通信の確立 .....	21
1.7.1 車両接続 .....	21
1.8 スタートするには .....	23
1.8.1 車両メニューのレイアウト .....	23
1.9 車両識別 .....	24
1.9.1 自動VINスキャン .....	25
1.9.2 手動VIN入力 .....	26
1.9.3 手動車両選択 .....	27

1.9.4	代替車両の識別 .....	27
1.10	ナビゲーション .....	28
1.10.1	診断画面のレイアウト .....	28
1.10.2	画面メッセージ .....	31
1.10.3	選択します .....	31
1.11	メインメニュー .....	32
1.12	診断 .....	32
1.12.1	ECU 情報 .....	36
1.12.2	コード読み取り .....	37
1.12.3	コードの消去 .....	38
1.12.4	ライブデータ .....	38
1.12.5	アクティブテスト .....	45
1.12.6	特殊機能 .....	46
1.13	サービス .....	47
1.13.1	機能説明 .....	48
1.14	一般的な OBD II 操作 .....	49
1.14.1	一般的な手順 .....	49
1.14.2	機能説明 .....	50
1.15	診断の終了 .....	53
<b>第 5 章</b>	<b>データマネージャーの操作 .....</b>	<b>54</b>
1.16	操作 .....	55
1.16.1	画像ファイル .....	55
1.16.2	PDF ファイル .....	57
1.16.3	データの確認 .....	57
1.16.4	アプリマネージャー .....	58
1.16.5	データロギング .....	58
<b>第 6 章</b>	<b>MAXIFIX 操作 .....</b>	<b>58</b>
1.17	ナビゲーション .....	59
1.17.1	用語 .....	60
1.18	操作 .....	62
1.18.1	ホーム .....	62
1.18.2	検索修正機能 .....	62
1.18.3	質問 .....	63
1.18.4	My MaxiFix .....	64
1.18.5	マイメッセージ .....	65
1.18.6	サポート .....	66
<b>第 7 章</b>	<b>設定操作 .....</b>	<b>67</b>
1.19	操作 .....	67

1. 19. 1	ユニット .....	67
1. 19. 2	言語 .....	67
1. 19. 3	印刷設定 .....	68
1. 19. 4	通知センター .....	68
1. 19. 5	About .....	69
1. 19. 6	システム設定 .....	69
1. 19. 7	ファームウェア .....	70
<b>第 8 章</b>	<b>ショップマネージャー操作 .....</b>	<b>71</b>
1. 20	車両の歴史 .....	72
1. 20. 1	履歴テスト記録 .....	73
1. 21	ワークショップ情報 .....	74
1. 22	カスタマーマネージャー .....	75
1. 22. 1	履歴ノート .....	76
<b>第 9 章</b>	<b>更新操作 .....</b>	<b>79</b>
<b>第 10 章</b>	<b>サポート操作 .....</b>	<b>81</b>
1. 23	製品登録 .....	81
1. 24	サポート画面レイアウト .....	82
1. 25	マイアカウント .....	82
1. 26	ユーザーの苦情 .....	83
1. 27	データロギング .....	86
1. 28	通信 .....	87
1. 29	トレーニングチャンネル .....	89
1. 30	FAQ データベース .....	89
<b>第 11 章</b>	<b>トレーニング操作 .....</b>	<b>90</b>
<b>第 12 章</b>	<b>リモートデスク操作 .....</b>	<b>91</b>
1. 31	操作 .....	91
<b>第 13 章</b>	<b>クイックリンク操作 .....</b>	<b>92</b>
<b>第 14 章</b>	<b>メンテナンスとサービス .....</b>	<b>93</b>
1. 32	メンテナンス手順 .....	93
1. 33	トラブルシューティングのチェックリスト .....	94
1. 34	バッテリーの使用について .....	95
1. 35	サービス手順 .....	96
<b>第 15 章</b>	<b>コンプライアンス情報 .....</b>	<b>97</b>
<b>第 16 章</b>	<b>保証 .....</b>	<b>98</b>

# 第1章 このマニュアルの使用

このマニュアルには、デバイスの使用方法が記載されています。

このマニュアルに示されている図には、システムに含まれていないモジュールやオプション機器が含まれている場合があります。他のモジュールおよびオプションのツールまたはアクセサリーの入手については、営業担当者にお問い合わせください。

## 1.1 規則

次の規則が使用されます。

### 1.1.1 太字

太字のテキストは、ボタンやメニューオプションなどの選択可能な項目を強調するために使用されます。

例：

- **OK** をタップします。

### 1.1.2 注

注は、追加の説明、ヒント、コメントなどの役立つ情報を提供します。

### 1.1.3 重要

**重要**は、回避しないと、テスト機器または車両の損傷につながる可能性がある状況を示します。

### 1.1.4 ハイパーリンク

他の関連記事、手順、および図へのハイパーリンクまたはリンクは、電子文書で利用できます。青色のテキストは、選択可能なハイパーリンクを示します。

### 1.1.5 手順

矢印アイコンは手順を示します。

例：

- **カメラを使用するには：**

1. カメラボタンをタップします。カメラ画面が開きます。
2. ビューファインダーでキャプチャする画像の焦点を合わせます。
3. 青い円をタップします。ビューファインダーは、キャプチャした画像を表示し、撮影した写真を自動保存します。

## 第2章 概説

MaxiSys®MS906 は、究極のパフォーマンスを提供しながら、非常に便利でモダンなデザインのツールを探しているお客様向けに開発された高度な診断デバイスです。強力な Samsung Exynos 5260 6 コアプロセッサ (1.3 GHz クアッドコア ARM Cortex-A7 + 1.7 GHz デュアルコア ARM Cortex-A15)、およびアンドロイドマルチタスクオペレーティングシステムに基づく 8.0 インチ LED 容量性タッチスクリーンを搭載します。 MaxiSys MS906 は、OE レベルの診断の可能な限り最高のカバレッジと組み合わせることで、より高度な統合により修理ジョブをスマートかつ便利に管理するための理想的なソリューションです。

このマニュアルでは、デバイスの構造と操作、および診断ソリューションを提供するための仕組みについて説明します。

### 1.2 MaxiSys MS906 ディスプレイタブレット

#### 1.2.1 機能説明

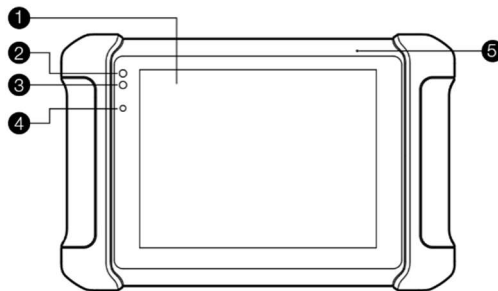


図 2-1 MaxiSys MS906 タブレットの正面図

1. 8.0 インチ LED 容量性タッチスクリーン
2. 電源 LED -バッテリー残量と充電またはシステムの状態を示します
3. 車両通信 LED -ディスプレイタブレットが車両のシステムと通信/リンクしているときに緑色に点滅



4. 周囲光センサー-周囲の明るさを検出
5. マイクロフォン

電源 LED は、次のシナリオに応じて異なる色を表示します。

A. 緑：

- タブレットの充電中にバッテリーが 90%を超えると緑色に点灯します
- タブレットの電源がオンで、バッテリーが 15%を超えると緑色に点灯します

B. 黄：

- タブレットの充電中にバッテリーが 90%を下回ると黄色に点灯します

C. 赤：

- タブレットの電源がオンで、バッテリーが 15%を下回ると、赤色に点灯します

D. 青：

- MaxiSys システムに障害がある場合、青色に点灯

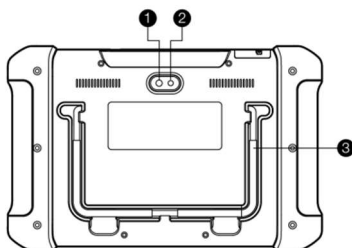


図 2- 2 MaxiSys MS906 タブレットの背面図

1. カメラレンズ
2. カメラフラッシュ
3. 折りたたみ式スタンド-背面から伸びて、ディスプレイタブレットを 30 度の角度でハンズフリーで見ることができます

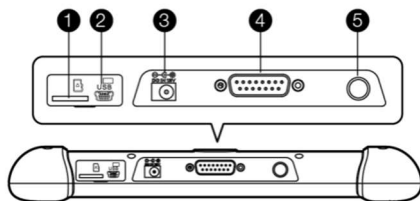


図 2-3 MaxiSys MS906 タブレットの上面図

1. ミニ SD カードスロット-ミニ SD カードを保持
2. ミニ USB ポート
3. DC 電源入力ポート-12 ボルトの電源アダプターを接続して充電します
4. DB15 ピンポート-車両の DLC ケーブルを接続します
5. ロック/電源ボタン-長押しでデバイスのオン/オフを切り替えたり、短押しで画面をロックします

## 1.2.2 動力源

ディスプレイタブレットは、次のソースのいずれかから電力を受け取ることができます。

- 内蔵バッテリーパック
- AC / DC 電源
- 車両パワー

### 内蔵バッテリーパック

ディスプレイタブレットには、内部充電式バッテリーを使用して電力を供給することができます。バッテリーを完全に充電すると、約 6 時間の連続動作に十分な電力を供給できます。

### AC / DC 電源

ディスプレイタブレットは、AC / DC 電源アダプターを使用してコンセントから給電できます。AC / DC 電源は、バッテリーパックも充電します。

### 車両パワー

ディスプレイタブレットは、直接ケーブル接続を介して、シガーライターまたはテスト車両の他の適切な電源ポートから電力を供給できます。車両の電源

ケーブルは、ディスプレイユニットの上部にある DC 電源ポートに接続します。

### 1.2.3 技術仕様

表 2-1 技術仕様

アイテム	説明
オペレーティング・システム	アンドロイド™ 4.4.2、キットカット
プロセッサ	Samsung Exynos 6 コアプロセッサ (1.3 GHz クアッドコア ARM Cortex-A7 + 1.7 GHz デュアルコア ARM Cortex-A15)
メモリー	2 GB RAM および 32 GB ROM
ディスプレイ	1024x768P 解像度の 8.0 インチ LED 静電容量式タッチスクリーン
接続性	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Wi-Fi (802.11 b / g / n)</li> <li>● DB16 DLC</li> <li>● USB 2.0</li> <li>● SD カード (最大 32GB をサポート)</li> </ul>
カメラ (背面)	後向き、8.0 メガピクセル、フラッシュ付き AF
センサー	重力加速度計、周囲光センサー (ALS)
オーディオ入出力	<ul style="list-style-type: none"> <li>● マイクロフォン</li> <li>● シングルスピーカー</li> </ul>
電源とバッテリー	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 3.7V / 5000 mAh リチウムポリマー電池</li> <li>● 12 V AC / DC 電源による充電</li> </ul>
入力電圧	DC / 12 V (9-35 V)
消費電力	5 W
動作温度。	0 から 55° C (32 から 131° F)
ストレージ温度	-20 から 60° C まで (-4 から 140° F まで)
ハウジング	保護ゴムブーツ付きの強力なプラスチック製ハウジング

寸法 (幅 x 高さ x 奥行き)	270.8 mm (10.0" ) x 176.0 mm (6.9" ) x 36.0mm (1.4" )
重量	NW: 0.93 kg (2.05 lb.)
プロトコル	ISO 9142-2、ISO 14230-2、ISO 15765-4、K-Line、L-Line、点滅コード、SAE-J1850 VPW、SAE-J1850 PWM、CAN ISO 11898、高速、中速、低速およびシングルワイヤ CAN、GM UART、UART Echo Byte Protocol、Honda Diag-H Protocol、TP 2.0、TP 1.6、SAE J1939、SAE J1708、フォールトトレラント CAN

## 1.3 アクセサリーキット

### 1.3.1 メインケーブル

ディスプレイタブレットは、OBD II / EOBD 準拠の車両に接続されている場合、メインケーブルから給電できます。メインケーブルは、ディスプレイタブレットを車両のデータリンクコネクタ (DLC) に接続します。

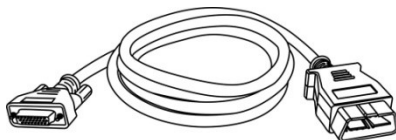


図 2-4 メインケーブル-長さ 1.7 m

### 1.3.2 OBD I アダプター

OBD I アダプターは、非 OBD II 車両用です。使用するアダプターは、テストする車両の種類によって異なります。最も一般的なアダプターを以下に示します。(ベンツ-14、PSA-2、Fiat-3 はヨーロッパのユニット専用で、Chrysler-16 はアメリカのユニット専用です。)



ベンツ-14



クライスラー-16



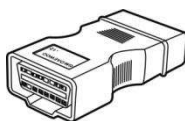
BMW 20



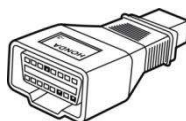
起亜-20



日産-14



GM /大宇-12



ホンダ-3

VW /アウディ 2 +  
2三菱/  
ヒュンダイ-12  
+ 16

ベンツ 38



PSA-2



フィアット-3

### 1.3.3 その他のアクセサリ



#### AC / DC 外部電源アダプター

ディスプレイタブレットを電源用の外部 DC 電源ポートに接続します。



#### ミニ USB ケーブル

ディスプレイタブレットを PC に接続します。



#### コンパクトディスク (CD)

ユーザーマニュアル、プリンタードライバープログラムなどが含まれています。



#### シガーライター

一部の非 OBD II 車両は DLC 接続を介して電力を供給できないため、車両のシガーライターレセプタクルへの接続を介してディスプレイタブレットに電力を供給します。



#### ライターヒューズ

シガレットライターの安全装置。

## 第3章 スタートするには

ディスプレイタブレットのバッテリーレベルが十分であること、または DC 電源に接続されていることを確認します (10 ページの [1. 2.2 電源](#) を参照)。

### 1.4 パワーアップ

ディスプレイタブレットの右上にあるロック/電源ボタンを押して、ユニットの電源を入れます。システムが起動し、ロック画面が表示されます。中央のロックアイコンで内側のリングを押すと、3つの入力オプションが表示されます。

1. **ロック解除**-内側のリングを円の右端にドラッグして、アンドロイドシステムのホーム画面に入ります。
2. **MaxiSys** -内側のリングを円の上端にドラッグして、MaxiSys ジョブメニューを開きます。
3. **カメラ**-内側のリングを円の左端にドラッグして、カメラを起動します



図 3-1 MaxiSys ジョブメニューのサンプル

1. アプリケーションボタン
2. ロケーターおよびナビゲーションボタン
3. ステータスアイコン

**注:** ディスプレイタブレットを最初にオンにすると、画面はデフォルトでロックされます。画面をロックして、システム内の情報を保護し、バッテリーの使用量を減らすことをお勧めします。

ディスプレイタブレットのほとんどすべての操作は、タッチスクリーンで制御されます。タッチスクリーンナビゲーションはメニュー方式であるため、一連の選択と質問を通じて、テスト手順または必要なデータをすばやく見つけることができます。メニュー構造の詳細な説明は、さまざまなアプリケーションの章にあります。

### 1.4.1 アプリケーションボタン

アプリケーションボタンは、実行する操作またはアクティビティのタイプに合わせて MaxiSys を構成します。次の表に、使用可能なアプリケーションの簡単な説明を示します。

画面をタップして、ジョブメニューからアプリケーションを選択します。

表 3-1 アプリケーション





ボタン	名称	説明
	診断	診断ツールとして動作するようにユニットを構成します。20 ページの <a href="#">診断操作</a> を参照してください。
	データマネージャー	保存されたデータファイルの組織システムを開きます。53 ページの <a href="#">データマネージャーの操作</a> を参照してください。
	MaxiFix	最も互換性がある豊富な修復技術と診断データベースを提供する MaxiFix プラットフォームを起動します。57 ページの <a href="#">MaxiFix 操作</a> を参照してください。
	設定	MaxiSys システム設定を設定し、ディスプレイタブレットに関する一般情報を表示できます。66 ページの <a href="#">設定操作</a> を参照してください。
	ショップマネージャー	ワークショップ情報と顧客データを編集して保存し、テスト車両の履歴記録を確認できます。67 ページの <a href="#">ショップマネージャーの操作</a> を参照してください。
	アップデート	MaxiSys システムで利用可能な最新のアップデートを確認し、アップデート手順を実行します。70 ページの <a href="#">更新操作</a> を参照してください。

ボタン	名称	説明
	リモートデスク ク	TeamViewer アプリケーションプログラムを使用してリモートサポートを受けるようにユニットを設定します。90 ページの <a href="#">リモートデスク操作</a> を参照してください。
	サポート	Autel のオンラインサービスベースステーションを MaxiSys タブレットと同期するサポートプラットフォームを起動します。80 ページの <a href="#">サポート操作</a> を参照してください。
	トレーニング	デバイスの使用方法や車両診断技術に関する技術的なチュートリアルやトレーニングビデオを保存および再生できます。89 ページの <a href="#">トレーニング操作</a> を参照してください。
	クイックリンク	関連する Web サイトのブックマークを提供して、製品の更新、サービス、サポート、その他の情報にすばやくアクセスできるようにします。91 ページの <a href="#">クイックリンク操作</a> を参照してください。






### 1.4.2 ロケーターおよびナビゲーションボタン

画面下部のナビゲーションボタンの操作については、次の表で説明します。

表 3- 2 ロケーターおよびナビゲーションボタン

ボタン	名称	説明
	ロケーター	画面の場所を示します。前または次の画面を表示するには、画面を左右にスワイプします。
	戻り	前の画面に戻ります。
	アンドロイドd ホーム	アンドロイドシステムのホーム画面に戻ります。
	最近のアプリ	現在動作しているアプリケーションのリストを表示します。アプリを開くには、タッチします。アプリを削除するには、右にスワイプします。



ボタン	名称	説明
	ブラウザー	アンドロイドの組み込みブラウザーを起動します。
	カメラ	短押しでカメラを開きます。長押しでスクリーンショット画像を取得して保存します。保存されたファイルは、後で確認できるようにデータマネージャーアプリケーションに自動的に保存されます。53 ページの <a href="#">データマネージャーの操作</a> を参照してください。
	ディスプレイとサウンド	画面の明るさと音声出力の音量を調整できます。
	MaxiSys ホーム	MaxiSys ジョブメニューに戻ります。
	MaxiSys ショートカット	他のアンドロイドアプリケーションから MaxiSys 操作インターフェースに戻ります。

➤ カメラを使用するには：

1. カメラボタンをタップします。カメラ画面が開きます。
2. ビューファインダーでキャプチャする画像の焦点を合わせます。
3. 内側の青い円をタップします。ビューファインダーは、キャプチャした画像を表示し、撮影した写真を自動保存します。
4. 画面の右上隅にあるサムネイル画像をタップして、保存されている画像を表示します。
5. **戻る**または[ホーム]ボタンをタップして、カメラアプリケーションを終了します。

詳細については、アンドロイドのドキュメントを参照してください。








### 1.4.3 システムステータスアイコン

ディスプレイタブレットはアンドロイドオペレーティングシステムで動作しているため、詳細についてはアンドロイドドキュメントを参照してください。

右下隅をタップすると、ショートカットパネルが表示され、タブレットのさまざまなシステム設定を設定できます。パネルの各ボタンの操作については、次の表で説明します。

表 3- 3 ショートカットパネルのボタン

注：ショートカットボタンは、有効にすると強調表示され、無効にすると暗くなります。

ボタン	名称	説明
	電卓	押すと電卓を起動します。
	時計	押すと時計を起動します。
	Wi-Fi	押されたときに Wi-Fi を有効/無効にします。
	トーチ	押されるとトーチのオン/オフを切り替えます。
	自動回転	押すと画面の自動回転を有効/無効にします。
	機内モード	押したときに機内モードを有効/無効にします。
	システム設定	押されると、アンドロイドシステム設定インターフェースを起動します。

## 1.5 パワーダウン

ディスプレイタブレットをシャットダウンする前に、すべての車両通信を終了する必要があります。ディスプレイタブレットが車両と通信しているときにディスプレイタブレットをシャットダウンしようとする、警告メッセージが表示されます。通信中に強制的にシャットダウンすると、一部の車両でECMの問題が発生する場合があります。電源を切る前に診断アプリケーションを終了します。

➤ **ディスプレイタブレットの電源を切るには：**

1. ロック/電源ボタンを押し続けます。
2. **電源オフオプション**をタップします。
3. **OK**をタップします。タブレットは数秒でオフになります。

## 1.5.1 再起動システム

システムがクラッシュした場合は、ロック/電源ボタンを 8 秒間押し続けて、システムを再起動します。

## 1.6 コンピューターソフトウェアのインストール

MaxiSys MS906 診断プラットフォームを使用すると、便利に必要な情報を印刷できます。印刷機能を実現するには、プリンタードライバープログラムをインストールする必要があります。

➤ **プリンタードライバープログラムをインストールするには**

1. CD をコンピューターの CD-ROM に挿入し、CD フォルダーを開きます。
2. **Autel Run.exe** アイテムをダブルクリックします。
3. MaxiSys PC Suite 画面の **MaxiSys プリンター** アイコンをクリックします。
4. インストール言語を選択すると、プリンタードライバーのインストールウィザードが一時的に読み込まれます。
5. 画面のウィザードの指示に従い、**次へ** をクリックして続行します。
6. **インストール** をクリックすると、プリンタードライバープログラムがコンピューターにインストールされます。
7. **完了** をクリックして、インストール手順全体を完了します。

---

**注：**MaxiSys プリンターは、インストール後に自動的に実行されます。

---

### 1.6.1 印刷操作

このセクションでは、ディスプレイタブレットからファイルを受信し、コンピューターを介して印刷を実行する方法について説明します。

➤ **コンピューターを介して印刷を実行するには**

1. プリンタードライバーをコンピューターにインストールします。
2. 印刷する前に、ディスプレイタブレットが WiFi または LAN を介してコンピューターネットワークに接続されていることを確認してください。詳細については、67 ページの [7.1.3 印刷設定](#) を参照してください。

3. コンピューターで MaxiSys プリンタープログラムを実行して、プリンターインターフェースを開きます。
4. **テスト印刷**をクリックして、プリンターが正常に動作していることを確認します。
5. ツールバーの**印刷ボタン**をタップします。一時ファイルが作成され、印刷のためにコンピューターに送信されます。
6. **自動印刷オプション**が選択されている場合、MaxiSys プリンターは受信したドキュメントを自動的に印刷します。

後で文書を印刷する必要がある場合は、**PDF ファイルを開く**をクリックして文書を選択し、MaxiSys プリンターインターフェースの**印刷ボタン**をダブルクリックして印刷を開始します。

---

注：印刷ドライバープログラムをインストールしたコンピューターがプリンターに接続されていることを確認してください。

---

## 第4章 診断操作

診断アプリケーションでは、直接サービス対象の車両の電子制御システムへのデータリンクを確立することにより、診断情報の取得、ライブデータパラメータの表示、およびアクティブなテストの実行を行うことができます。Diagnostics アプリケーションは、エンジン、トランスミッション、アンチロックブレーキシステム (ABS)、エアバッグシステム (SRS) など、さまざまな車両制御システムの電子制御モジュール (ECM) にアクセスできます。

### 1.7 車両通信の確立

診断操作では、メインケーブルを使用して MaxiSys MS906 診断プラットフォームをテスト車両に接続する必要があります。

#### 1.7.1 車両接続

ディスプレイタブレットを車両の DLC に接続する方法は、車両の構成によって次のように異なります。

- オンボード診断 2 (OBD II) 管理システムを搭載した車両は、標準化された J-1962 DLC を介して通信と 12 ボルトの電力の両方を供給します。
- OBD II 管理システムを装備していない車両は、DLC 接続を介して通信を提供し、場合によってはシガーライターレセプタクルまたは車両バッテリーへの接続を介して 12 ボルトの電力を供給します。

## OBD II 車両接続

このタイプの接続には、追加のアダプターなしでメインケーブルのみが必要です。

### ➤ OBD II 車両に接続するには

1. メインケーブルのメスアダプターをディスプレイタブレットの車両データコネクタに接続し、拘束ネジを締めます。
2. ケーブルの 16 ピンオスアダプターを車両の DLC に接続します。DLC は通常、車両のダッシュボードの下にあります。

---

**注：**車両の DLC は常にダッシュの下にあるとは限りません。追加の接続情報については、テスト車両のユーザーマニュアルを参照してください。

---

## 非 OBD II 車両接続

このタイプの接続には、メインケーブルと、サービス対象の特定の車両に必要な OBD I アダプターの両方が必要です。

### ➤ 非 OBD II 車両に接続するには

1. メインケーブルのメスアダプターをディスプレイタブレットの車両データコネクタに接続し、拘束ネジを締めます。
2. 必要な OBD I アダプターを見つけ、その 16 ピンジャックをメインケーブルのオスアダプターに接続します。
3. 付属の OBD I アダプターを車両の DLC に接続します。

---

**注：**一部のアダプターには、複数のアダプターがある場合や、アダプターの代わりにテストリードがある場合があります。いずれにしても、必要に応じて車両の DLC に適切に接続します。

---

一部の DLC 接続は通信のみを供給し、電力はシガーライター接続を介して供給されます。

### ➤ シガーライターを接続するには

1. シガーライターの DC 電源コネクタをディスプレイタブレットの DC 電源入力ポートに差し込みます。
2. シガーライターのオスコネクタを車両のシガーライターレセプタクルに接続します。

## 1.8 スタートするには

診断アプリケーションを初めて使用する前に、ディスプレイタブレットを車両の DLC に正しく接続する必要があります。

### 1.8.1 車両メニューのレイアウト





ディスプレイタブレットデバイスが車両に適切に接続されると、プラットフォームは車両診断を開始する準備が整います。MaxiSys ジョブメニューの診断アプリケーションボタンをタップすると、画面が車両メニューを開きます。図 4-1 サンプル車両メニュー画面









1. 上部のツールバーボタン
2. メーカーボタン

#### 上部のツールバーボタン

画面上部のツールバーボタンの操作を以下の表にリストして説明します。

表 4-1 上部のツールバーボタン

ボタン	名称	説明
	ホーム	MaxiSys ジョブメニューに戻ります。
	VIN スキャン	このボタンをタッチすると、ドロップダウンリストが開きます。自動 VIN 検出のために自動検出をタップします。手動入力をタップして、VIN を手動で入力します。

ボタン	名称	説明
	すべて	車両メニューにすべての車両が表示されます。
	履歴	保存されたテスト車両の履歴レコードを表示します。このオプションを使用すると、以前のテストセッション中に記録された以前にテストされた車両に直接アクセスできます。71ページの <a href="#">8.1 車両履歴</a> を参照してください。
	USA	USA 車両メニューを表示します。
	ヨーロッパ	ヨーロッパの車両メニューを表示します。
	アジア	アジアの車両メニューを表示します。
	国内	国内車両メニューを表示します。
	検索	このボタンをタッチすると、仮想キーボードが開き、必要な特定の車両を手動で入力できます。
	キャンセル	このボタンをタッチすると、検索画面が終了するか、操作がキャンセルされます。

### メーカーボタン

製造業者ボタンには、さまざまな車両のロゴとブランド名が表示されます。テスト車両との通信を確立した後、診断セッションを開始するために必要なメーカーボタンを選択します。

各車両のブランド名の横にある小さな封筒のアイコンをタップすると、該当するモデルや機能を含む診断ソフトウェアの機能リストを表示する PDF ドキュメントが開きます。

**注:** 車両ブランド名の右上に表示される更新アイコンは、車両の利用可能な更新があることを示します。更新アプリケーションを直接入力するには、このアイコンをタップします。

## 1.9 車両識別

MaxiSys 診断システムは、車両識別のための 4 つの方法をサポートしています。

### 1. 自動 VIN スキャン

2. 手動 VIN 入力
3. 手動車両選択
4. OBD 直接入力

### 1.9.1 自動 VIN スキャン

MaxiSys 診断システムは、最新の VIN ベースの自動 VIN スキャン機能を備えており、ワンタッチで CAN 車両を識別します。これにより、技術者は車両をすばやく検出し、すべての車両の診断可能な ECU をすべてスキャンし、選択したシステムで診断を実行できます。

➤ **自動 VIN スキャンを実行するには**

1. MaxiSys ジョブメニューから**診断**アプリケーションボタンをタップします。車両メニューが表示されます。（[図 4-1](#)）
2. 上部のツールバーの**VIN スキャン**ボタンをタップします。
3. **自動検出**を選択します。テスターは、車両の ECU で VIN スキャンを開始します。テスト車両が正常に識別されると、システムは車両診断画面に直接案内します。



図 4-2 車両診断画面サンプル

ユーザーが最初に自動 VIN スキャンを実行する代わりに車両ブランドを選択した場合、システムはまだ車両 VIN スキャンのオプションを提供します。





図 4- 3 車両選択画面サンプル

自動選択を選択すると、システムは VIN 情報を自動的に取得するか、ユーザーが手動で VIN を入力できるようになります。

## 1.9.2 手動 VIN 入力

自動 VIN スキャン機能をサポートしていない一部の車両では、MaxiSys MS906 診断システムを使用して、車両 VIN を手動で入力できます。

### ➤ 手動 VIN 入力を実行するには

1. MaxiSys ジョブメニューから診断アプリケーションボタンをタップします。車両メニューが表示されます。 (図-4-1)
2. 上部のツールバーの VIN スキャンボタンをタップします。
3. 手動入力を選択します。

4. 入力ボックスをタップして、正しいVINを入力します。

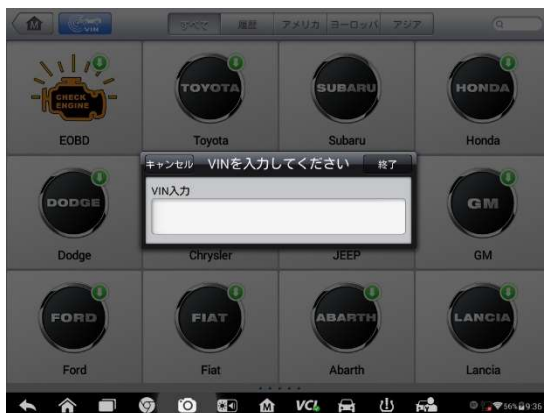


図 4- 4 手動 VIN 入力

5. 完了をタップします。車両は数秒で識別され、照合が成功すると、システムは車両診断画面に直接案内します。 (図 4-2)
6. キャンセルをタップして、手動入力を終了します。

### 1.9.3 手動車両選択

車両の VIN が車両の ECU から自動的に取得できない場合、または特定の VIN が不明な場合、車両を手動で選択することを選択できます。

#### 段階的な車両選択

車両選択手順はメニュー方式です。画面上のプロンプトに従って一連の選択を行うだけです。選択するたびに、次の画面に進みます。画面の右下隅にある戻るボタンをクリックすると、前の画面に戻ります。正確な手順は、サービス対象の特定の車両によって多少異なる場合があります。

### 1.9.4 代替車両の識別

場合によっては、テスターが認識しないテスト車両を特定することがあります。データベースはサポートしていないか、通常のチャンネルを介してテスターと通信することを妨げるいくつかの固有の特性を持っています。これらのインスタンスでは、OBD ダイレクトエントリが提供され、これを介して一般的な OBD II または EOBD テストを実行できます。詳細については、48 ページの [4.8 一般的な OBD II 操作](#) を参照してください。

## 1.10 ナビゲーション

このセクションでは、診断インターフェースをナビゲートし、テストオプションを選択する方法について説明します。

### 1.10.1 診断画面のレイアウト

通常、診断画面には4つのセクションが含まれます。 (図 4-5)

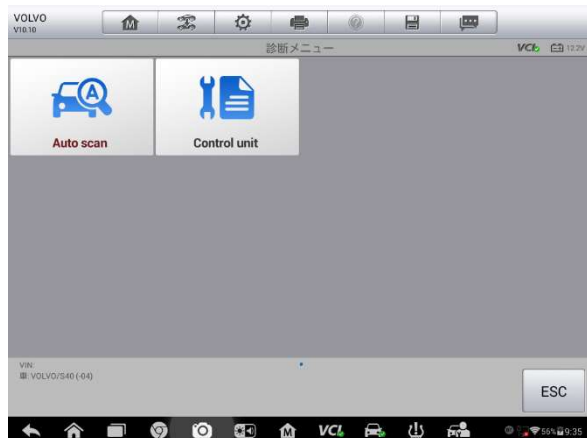



図 4-5 診断画面のサンプル








1. 診断ツールバー
2. ステータス情報バー
3. メインセクション
4. 機能ボタン

#### 診断ツールバー

診断ツールバーには、表示されたデータを印刷または保存し、他の制御を行うことができるボタンがいくつかあります。次の表に、診断ツールバーボタンの操作の簡単な説明を示します。

表 4-2 診断ツールバーボタン

ボタン	名称	説明
	ホーム	MaxiSys ジョブメニューに戻ります。

ボタン	名称	説明
	車両交換	このボタンをタッチすると、現在識別されているテスト車両の診断セッションを終了し、車両メニュー画面に戻ってテストする別の車両を選択できます。
	設定	設定画面を開きます。66 ページの <a href="#">設定操作</a> を参照してください。
	印刷	表示されたデータのコピーを保存して印刷します。19 ページの追加情報については、 <a href="#">3.3.1 印刷操作</a> を参照してください。
	ヘルプ	さまざまな診断機能の操作に関する指示またはヒントを提供します。
	保存	<p>このボタンをタップするとサブメニューが開き、表示されたデータを保存するための3つのオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>このページを保存</b> をタップして、スクリーンショット画像を撮ります</li> <li>● <b>すべてのデータを保存</b> をタップしてPDF ファイルを保存します（主に1 ページ以上のデータを保存するために使用されます）</li> <li>● <b>保存を開始</b> をタップして、ビデオクリップを記録します（ライブデータまたは特別なグラフデータの記録にのみ使用可能）</li> </ul> <p>保存されたすべてのデータは、後で確認できるようにデータマネージャーアプリケーションに保存されます。49 ページの <a href="#">データマネージャーの操作</a> を参照してください。</p>
	データロギング	<p>テスト車両の通信データと ECU 情報を記録します。保存されたデータは報告され、インターネット経由でテクニカルセンターに送信されます。</p> <p>サポートアプリケーションにアクセスして処理の進行状況を追跡できます。詳細については、82 ページの <a href="#">10.5 データロギング</a> を参照してください。</p>
	送信	このボタンをタップすると、インターネット経由でデータロギングレポートがテクニカルセンターに送信されます。

➤ **診断でデータを印刷するには**

1. MaxiSys ジョブメニューから**診断アプリケーション**ボタンをタップします。診断ツールバーの**印刷**ボタンは、診断操作全体を通して利用できます。
2. **印刷**をタップすると、ドロップダウンメニューが表示されます。
  - a) **このページを印刷**-現在の画面のスクリーンショットのコピーを印刷します
  - b) **すべてのページを印刷**-表示されているすべてのデータの PDF コピーを印刷します
3. 一時ファイルが作成され、印刷のためにコンピューターに送信されます。
4. ファイルが正常に転送されると、確認メッセージが表示されます。

---

**注:** 印刷する前に、Wi-Fi または LAN を介してディスプレイタブレットがコンピューターネットワークに接続されていることを確認してください。印刷の詳細については、19 ページの [3.3.1 印刷操作](#) を参照してください。

---

➤ **診断でデータロギングレポートを送信するには**

1. MaxiSys ジョブメニューから**診断アプリケーション**ボタンをタップします。診断ツールバーの**データロギング**ボタンは、診断操作全体を通して利用できます。
2. **データロギング**ボタンをタップします。アクティブな記録プロセス中、ボタンは青で表示されます。
3. **データロギング**ボタンをもう一度タップして、記録を終了します。提出フォームが表示され、レポート情報を入力できます。
4. **送信**ボタンをタップして、インターネット経由でレポートフォームを送信します。送信が成功すると、確認メッセージが表示されます。

## ステータス情報バー

メインセクションの上部にあるステータス情報バーには、次の項目が表示されます。

1. **メニュータイトル**-メインセクションのメニューの件名を示します
2. **バッテリーアイコン**-**車両**のバッテリーステータスを示します

## メインセクション

画面のメインセクションは、操作の段階によって異なります。メインセクションには、車両識別の選択、メインメニュー、テストデータ、メッセージ、指示、その他の診断情報を表示できます。

## 機能ボタン

画面のこのセクションに表示される機能ボタンは、操作の段階によって異なります。これらは、診断データのナビゲート、保存、クリア、スキャンの終了、その他の機能制御に使用できます。これらのボタンの機能は、対応するテスト操作の次のセクションでそれぞれ紹介されます。

### 1.10.2 画面メッセージ

続行する前に追加の入力が必要な場合、画面メッセージが表示されます。画面のメッセージには、主に確認、警告、エラーの3種類の目的があります。

#### 確認メッセージ

通常、このタイプのメッセージは「情報」画面として表示され、取り消せないアクションを実行しようとしているとき、またはアクションが開始されて続行するために確認が必要なときに通知します。

続行するためにユーザーの応答が不要な場合、メッセージは短時間表示されてから自動的に消えます。

#### 警告メッセージ

このタイプのメッセージは、選択したアクションを完了すると、元に戻せない変更またはデータの損失が発生する可能性があることを通知します。この典型的な例は、「削除されたコード」メッセージです。

#### エラーメッセージ

エラーメッセージは、システムエラーまたは手順エラーが発生したときに通知します。考えられるエラーの例には、特定の理由によるケーブルの切断または通信の中断が含まれます。

### 1.10.3 選択します

診断アプリケーションは、一連の選択肢を1つずつ提示するメニュー駆動型プログラムです。メニューから選択すると、シリーズの次のメニューが表示されます。選択するたびにフォーカスが絞り込まれ、目的のテストが行われます。指先またはスタイラスペンを使用して、メニューを選択します。

## 1.11 メインメニュー

診断アプリケーションを使用すると、車両の診断またはサービスのために、テスト車両の電子制御システムへのデータリンクを確立できます。機能テストを実行し、エンジン、トランスミッション、ABS などのさまざまな車両制御システムのトラブルコード、イベントコード、ライブデータなどの車両診断情報を取得できます。

車両診断画面 (図 4-2) には、主に 2 つのオプションがあります。

1. **診断**-使用可能なすべての機能を含む包括的なセクション: 診断情報の読み取り、消去、保存、印刷、およびアクティブなテストと特別な機能の実行
2. **サービス**-サービスライトのリセットや各種システムのキャリブレーションの実行など、車両の定期的なサービスとメンテナンスを実行するように設計された個別のセクション

セクションが選択され、タブレットが車両との通信を確立すると、対応する機能メニューまたは選択メニューが表示されます。

## 1.12 診断

診断セクションにアクセスするときには使用できるオプションは 2 つあります。

1. **自動スキャン**-車両で利用可能なすべてのシステムの自動スキャンを開始します
2. **コントロールユニット**-テスト車両の使用可能なすべてのコントロールユニットの選択メニューを表示します

### 自動スキャン

自動スキャン機能は、車両の ECU 上のすべてのシステムに対して包括的なスキャンを実行し、障害システムを特定して DTC を取得します。自動スキャンのサンプル操作インターフェースは、次のように表示されます。

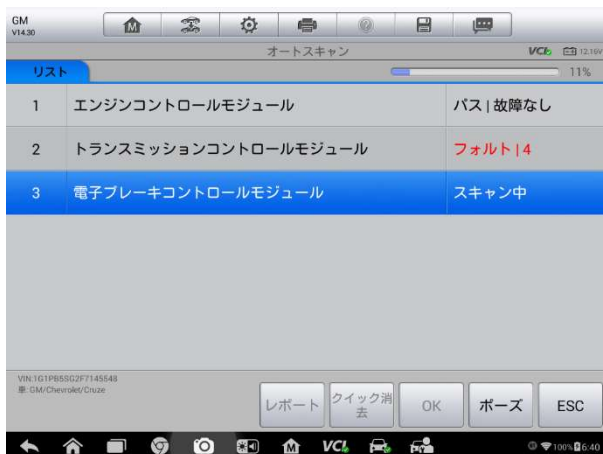


図 4- 6 自動スキャン操作画面のサンプル

1. ナビゲーションバー
  2. メインセクション
  3. 機能ボタン
- **ナビゲーションバー**
    1. リストタブ-スキャンしたデータをリスト形式で表示します
    2. ツリータブ-スキャンされたデータをシステム分布図形式で表示します
    3. 進行状況バー-テストの進行状況を示します
  - **メインセクション**
    4. リストタブ
      - 列 1-システム番号を表示します
      - 列 2 -スキャンされたシステムを表示します
      - 列 3 -テスト結果のさまざまな条件を示す診断マークを表示します。

-!- : スキャンしたシステムがコード読み取り機能をサポートしていないか、テスターと制御システムの間に通信エラーがあることを示します。

-?- : 車両制御システムは検出されたが、テスターが正確に位置を特定できないことを示します。




**Fault** | #: 検出された障害コードが存在することを示します。  
「#」は、検出された障害の数を示します。

**Pass** | **No Fault**: システムがスキャンプロセスに合格し、障害が検出されなかったことを示します。

B. ツリータブ

ツリータブ画面には、車両制御モジュールのシステム分布図が表示されます。障害なしでスキャンに合格したスキャン済みシステムは、青色のフォントで表示されます。一方、障害が存在することが検出されたスキャン済みシステムは、赤色のフォントで表示されます。

- システム項目の右側にある  ボタンをタップして、さらに診断やその他のテストアクティビティを実行します。機能メニュー画面 (図 4-7) が表示されます。

● 機能ボタン

次の表は、自動スキャンでの機能ボタンの操作の簡単な説明です。

表 4-3 自動スキャンの機能ボタン

名称	説明
戻り	前の画面に戻るか、自動スキャンを終了します。
一時停止	スキャンと変更を一時停止して、[続行] ボタンを表示します。
OK	テスト結果を確認し、メインセクションの項目をタップして必要なシステムを選択した後、システム診断に続行します。
クイック消去	コードを削除します。この機能を選択すると、データ損失の可能性を通知する警告メッセージ画面が表示されます。
レポート	レポートフォームに診断データを表示します。
保存	診断セッションを履歴レコードとして保存します。これにより、テストシステムへのアクセスをすばやく復元できます。

## コントロールユニット

このオプションを使用すると、一連の選択を通じてテストに必要な制御システムを手動で見つけることができます。メニュー駆動の手順に従うだけで、毎回適切な選択を行います。プログラムは、いくつかの選択を行った後、診断機能メニューに案内します。

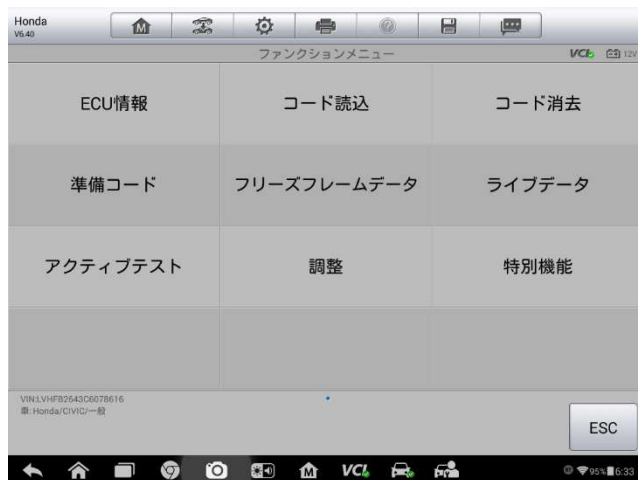


図 4-7 サンプル機能メニュー画面

機能メニューのオプションは、車両によって若干異なります。機能メニューには以下が含まれます。

- **ECU 情報**-取得した ECU 情報を詳細に提供します。情報画面を開くことを選択します。
- **コードの読み取り**-車両制御モジュールから取得した DTC レコードの詳細情報を表示します。
- **コードの消去**- ETC から DTC レコードやその他のデータを消去します。
- **ライブデータ**-車両の ECU からライブデータとパラメータを取得して表示します。
- **アクティブテスト**-特定のサブシステムおよびコンポーネントのテストを提供します。この選択は、**アクチュエータ**、**アクチュエータテスト**、または**機能テスト**などとして表示される場合があり、テストオプションはメーカーとモデルによって異なります。

**注:** 診断手順全体を通して画面の上部にある診断ツールバーを使用すると、表

示されたデータの印刷と保存、ヘルプ情報の取得、データロギングの実行など、いつでも診断情報のさまざまな制御を行うことができます。

➤ **診断機能を実行するには**

1. テスト車両との通信を確立します。
2. メニューオプションから選択して、テスト車両を特定します。
3. **診断**セクションを選択します。
4. **自動スキャン**または**コントロールユニット**のメニュー方式の選択により、テストに必要なシステムを見つけます。
5. **機能メニュー**から目的のテストを選択します。

## 1.12.1 ECU 情報

この機能は、ユニットタイプ、バージョン番号、その他の仕様など、テストされたコントロールユニットの特定の情報を取得して表示します。サンプルの ECU 情報画面は次のように表示されます。



図 4-8 ECU 情報画面のサンプル

1. **診断ツールバーボタン**-各ボタンの操作の詳細な説明については、25 ページの [図 4-2 診断ツールバーボタン](#) を参照してください。
2. **メインセクション**-左の列にはアイテム名が表示されます。右側の列には、

仕様または説明が表示されます。

3. **機能ボタン**-この場合、戻る（または ESC）ボタンのみが利用可能です。表示したら終了するにはタップします。

## 1.12.2 コード読み取り

この関数は、車両の制御システムから DTC を取得して表示します。コードの読み取り画面は、テストする車両ごとに異なります。一部の車両では、フリーズフレームデータを取得して表示することもできます。コードを読み取り画面のサンプルは次のように表示されます。

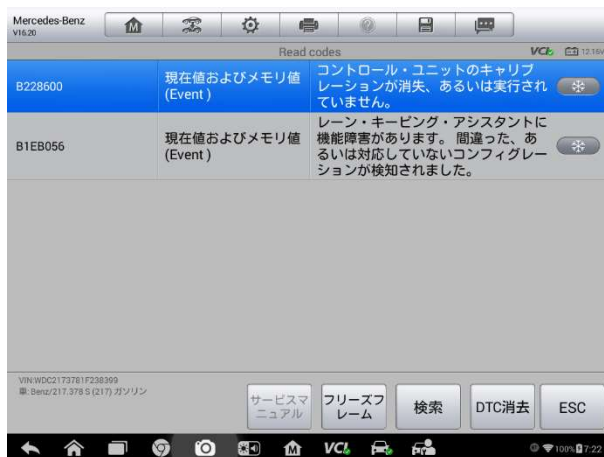


図 4- 9 コード読み取り画面のサンプル

1. **診断ツールバーボタン**-各ボタンの操作の詳細な説明については、25 ページの表 4-2 **診断ツールバーボタン**を参照してください。
2. **メインセクション**
  - コード列-車両から取得したコードを表示します。
  - ステータス列-取得したコードのステータスを示します。
  - 説明列-取得したコードの詳細な説明。
  - スノーフレークアイコン-フリーズフレームデータを表示できる場合にのみ表示されます。このアイコンを選択すると、コードの読み取りインターフェースに非常によく似ている為、同じ操作方法を適用できます。

3. **機能ボタン-戻る**（または **ESC**）ボタンのみが使用可能です。タップして前の画面に戻るか、機能を終了します。

### 1.12.3 コードの消去

車両から取得したコードを読み取り、特定の修理を行った後、この機能を使用して車両からコードを消去することを決定できます。この機能を実行する前に、エンジンがオフの状態ですべての車両のイグニッションキーがオン（RUN）位置にあることを確認してください。

➤ **コードを消去するには**

1. 機能メニューから**コードを消去**をタップします。
2. この機能を適用すると、データ損失を知らせる警告メッセージが表示されます。
  - a) **はい**をタップして続行します。操作が正常に完了すると、確認画面が表示されます。
  - b) **いいえ**をタップして終了します。
3. 確認画面で **ESC** をタップして、コードの消去を終了します。
4. 「コードの読み取り」機能を再度実行して、コードの消去が成功したかどうかを確認します。

### 1.12.4 ライブデータ

この機能を選択すると、選択したモジュールのデータリストが画面に表示されます。制御モジュールで使用できるアイテムは、車両ごとに異なります。パラメータは、ECMによって送信される順序で表示されるため、車両間のばらつきが予想されます。

ジェスチャースクロールを使用すると、データリスト内をすばやく移動できます。画面を上下にスワイプするだけで、目的のデータを見つけることができます。以下の図は、典型的なライブデータ画面を示しています。

名	値	単位
<input type="checkbox"/> 車両モデル	BR213	
<input type="checkbox"/> モデル・イヤー	2016	
<input type="checkbox"/> 右ハンドル車あるいは左ハンドル車	左ハンドル車	
<input type="checkbox"/> 国別仕様	229L GERMANY	
<input type="checkbox"/> 作動中のレーン・キープ・アシスト	利用可能	
<input type="checkbox"/> レーン・キープ・アシスト	利用不可能	
<input type="checkbox"/> コード513 (交通標識検知システム)	利用可能	
<input type="checkbox"/> インテリジェント・ライト・システム	利用不可能	

図 4- 10 ライブデータ画面のサンプル

1. **診断ツールバーボタン**-画面の上部中央にあるドロップダウンボタンをタップすると、ツールバーボタンが表示されます。各ボタンの操作の詳細については、25 ページの表 4-2 **診断ツールバーボタン**を参照してください。
  2. **メインセクション**
    - 名前列-この列には、パラメータ名が表示されます。
      - a) **チェックボックス**-パラメータ名の左側にあるチェックボックスをタップして、アイテムを選択します。もう一度チェックボックスをタップして、アイテムの選択を解除します。
      - b) **ドロップダウンボタン**-パラメータ名の右側にあるドロップダウンボタンをタップすると、データ表示モードのさまざまな選択肢を提供するサブメニューが開きます。
    - 値列-パラメータ項目の値を表示します。
    - 範囲列-最小値と最大値を表示します。
    - 単位列-パラメータの単位を表示します。
- ユニットモードを変更するには、上部のツールバーの**設定ボタン**をタップし、必要なモードを選択します。詳細については、66 ページ

の [7.1.1 ユニット](#) を参照してください。

### 3. ディスプレイモード

データ表示には 4 種類の表示モードがあり、さまざまな種類のパラメータを最適な方法で表示できます。

パラメータ名の右側にあるドロップダウンボタンをタップすると、サブメニューが開きます。データ表示モードを設定するための 4 つのボタンと、追加情報をタップできる右側の 1 つのヘルプボタンがあります。

各パラメータ項目には、選択したモードが個別に表示されます。

**アナログゲージモード**-パラメータをアナログメーターグラフの形式で表示します

**テキストモード**-これはデフォルトのモードで、パラメータをテキストで表示し、リスト形式で表示します

---

**注** : スイッチの読み取りなど、ON、OFF、ACTIVE、および ABORT などのほとんどがワード形式であるステータスパラメータの読み取りは、テキストモードでのみ表示できます。一方、センサー測定値などの値パラメータの測定値は、テキストモードおよび他のグラフモードで表示できます。

---

**波形グラフモード**-パラメータを波形グラフで表示します

このモードが適用されると、パラメータ項目の右側に 3 つの制御ボタンが表示され、表示状態を操作できます。

- **テキストボタン**-テキスト表示モードを再開します
- **スケールボタン**-波形グラフの下に表示されるスケール値を変更します。4 つのスケールが利用できます : x1、x2、x4、x8。
- **ズームインボタン**-1 回タップすると、選択したデータグラフが全画面表示されます

**デジタルゲージモード**-デジタルゲージグラフの形式でパラメータを表示します

**全画面表示**-このオプションは波形グラフモードでのみ使用でき、データ比較のグラフマージステータスで主に使用されます。このモードでは、画面の右上に 3 つの制御ボタンがあります。

- **編集ボタン**-このボタンをタップすると編集ウィンドウが開き、選

択したパラメータ項目に表示される波形の色と線の太さを設定できます。

- **スケールボタン**-波形グラフの下に表示されるスケール値を変更します。4つのスケールが利用できます：x1、x2、x4、x8。
- **ズームアウトボタン**-全画面表示を終了します。

➤ **データグラフで波形の色と線の太さを編集するには**

1. 波形グラフモードで表示するパラメータ項目を1~3つ選択します。
2. 右側の**ズームインボタン**をタップして、データグラフを全画面で表示します。
3. **編集ボタン**をタップすると、編集ウィンドウが表示されます。
4. 左の列でパラメータ項目を選択します。
5. 2列目から目的のサンプル色を選択します。
6. 右側の列から目的のサンプル線の太さを選択します。
7. ステップ4-7を繰り返して、各パラメータ項目の波形を編集します。
8. **完了**をタップして設定を保存して終了するか、**キャンセル**をタップして保存せずに終了します。

4. **機能ボタン**

ライブデータ画面で使用可能なすべての機能ボタンの操作については、以下で説明します。

**戻る**-前の画面に戻るか、機能を終了します。

**記録**-取得したライブデータの記録を開始します。記録されたデータは、今後のレビューのためにデータマネージャープリケーションにビデオクリップとして保存されます。この機能は、事前に設定したしきい値で自動的にトリガーするか、選択したとおりに手動でトリガーできます。トリガーモードと記録時間は、ライブデータの設定モードで構成できます。

**フリーズ**-取得したデータをフリーズモードで表示します。

- 前のフレーム-凍結データの前のフレームに移動します。
- 次のフレーム-フリーズデータの次のフレームに移動します。

**再開**-このボタンは、録画またはフリーズ機能が適用されているときに表示されます。このボタンをタップすると、データの記録が停止するか、フリーズデータモードが終了し、通常のパラメータ表示モードが再開されます。



す。

**フラグ**-このボタンは、記録機能が適用されているときに表示されます。このボタンをタップすると、選択した場所で記録されたデータのフラグが設定されます。記録されたビデオクリップを後でデータマネージャーである場合、プリセットフラグを使用すると、再生ポップアップでテキストを入力してメモを取ることができます。

**データのクリア**-選択したときに、以前に取得したすべてのパラメータ値を切断ポイントでクリアします。

**トップへ**-選択したデータ項目をリストの一番上に移動します。

**グラフのマージ**-このボタンをタップして、選択したデータグラフをマージします（波形グラフモードのみ）。この機能は、異なるパラメータを比較するときに非常に便利です。

---

**注：**このモードは、2~3個のパラメータ項目に対してのみグラフマージをサポートしているため、グラフをマージするときは、毎回2項目以上または3項目以下を選択してください。

---

➤ グラフ結合モードをキャンセルするには、パラメータ名の右側にあるドロップダウンボタンをタップし、データ表示モードを選択します。

**選択を表示/すべてを表示**-このオプションをタップして、2つのオプションを切り替えます。1つは選択したパラメータ項目を表示し、もう1つは使用可能なすべての項目を表示します。

**設定**-このボタンをタップすると、設定画面が開きます。この画面では、トリガーモード、記録時間、データ記録のさまざまなしきい値を設定したり、その他の制御を行ったりできます。



図 4- 11 ライブデータの設定モードのサンプル

設定モード画面の上部には4つのナビゲーションボタンがあります。

- **範囲ボタン**-ブザーアラームをトリガーするためのしきい値、上限および下限を設定できる設定画面を表示します。この機能は、波形グラフ表示モードにのみ適用されます。
  - a) **MIN** -タップすると仮想キーボードが開き、必要な下限値を入力できます
  - b) **MAX** -タップすると仮想キーボードが開き、必要な上限値を入力できます
  - c) **ブザーアラーム**-アラームのオンとオフを切り替えます。アラーム機能は、データの読み取り値が事前設定された最小または最大ポイントに達するたびにビープ音を鳴らします
- **パラメータ値のしきい値制限を設定するには**
  1. ライブデータ画面の下部にある**設定機能ボタン**をタップします。
  2. **範囲ナビゲーションボタン**をタップします。
  3. 左の列でパラメータ項目を選択するか、検索バーに項目名を入力します。
  4. **MIN** ボタンの右側をタップして、必要な最小値を入力します。
  5. **MAX** ボタンの右側をタップし、必要な最大値を入力します。

6. ブザーアラームボタンの右側にある**オン/オフ**ボタンをタップして、オンまたはオフにします。
7. **完了**をタップして設定を保存し、ライブデータ画面に戻ります。または、**キャンセル**をタップして保存をしません。

しきい値の制限が正常に設定されると、2つの水平線が各データグラフに表示され（波形グラフモードが適用されている場合）、警告ポイントを示します。しきい値線は、区別のためにパラメータの波形とは異なる色で表示されます。

- **記録ボタン**-記録設定の構成画面を表示します。この画面では、データ記録機能のトリガータイプ、継続時間、トリガーポイントを設定できます。

- a) **トリガータイプ**-データ記録のトリガーモードを設定します。主に手動と自動の2種類があります。次の4つのオプションがあります。

- 1) **手動**-データ記録を手動で開始および停止できます
- 2) **DTC** - DTCが検出されると、データ記録が自動的にトリガーされます
- 3) **DTCチェックモード**-事前に選択された特定のDTCタイプが検出されると、自動的にデータ記録がトリガーされます
- 4) **パラメータ**パラメータ値が事前設定されたしきい値に達すると、データの記録を自動で開始します


- b) **期間**-記録時間を設定します（自動トリガーモードのみ）

- c) **トリガーポイント**-参照用にデータ記録開始ポイントの前にレコード長の相対的な割合を予約します（自動トリガーモードのみ）

➤ **ライブデータレコードの設定を行うには**

1. ライブデータ画面の下部にある**設定機能**ボタンをタップします。
2. ナビゲーション**記録**ボタンをタップします。
3. **トリガータイプ**バーの右側にある**⊙**ボタンをタップし、必要なトリガーモードを選択します。
4. **期間**バーの右側にある**⊙**ボタンをタップして、**時間**の長さを

選択します。

5. トリガーポイントバーの右側にある  ボタンをタップし、データ記録開始ポイントの前に予約するレコード長の相対的な割合を選択します。
  6. **[完了]** をタップして設定を保存し、ライブデータ画面に戻ります。または、**[キャンセル]** をタップして保存せずにキャンセルし、設定を終了します。
- **完了ボタン**—設定を確認して保存し、ライブデータ画面に戻ります。
  - **キャンセルボタン**—設定操作をキャンセルし、ライブデータ画面に戻ります。

## 1.12.5 アクティブテスト

アクティブテスト機能は、車両固有のサブシステムおよびコンポーネントテストにアクセスするために使用されます。使用可能なテストはメーカー、年、モデルによって異なり、使用可能なテストのみがメニューに表示されます。

アクティブなテスト中、テスターはアクチュエータを駆動するために ECU にコマンドを出力します。このテストでは、エンジン ECU データを読み取るか、2つの動作状態間でソレノイド、リレー、スイッチを切り替えるなどのアクチュエータの動作を監視することにより、システムまたは部品の整合性を判断します。

アクティブテストを選択すると、メーカーとモデルによって異なるテストオプションのメニューが開きます。メニューオプションを選択すると、テストがアクティブになります。テストの実行中は、画面のすべての指示に従ってください。画面上の情報の内容とパターンは、実行されているテストの種類によって異なります。一部のトグルおよび変数コントロールテストでは、画面の上部にアクティブテストコントロールが表示され、下にデータストリーム情報が表示されます。

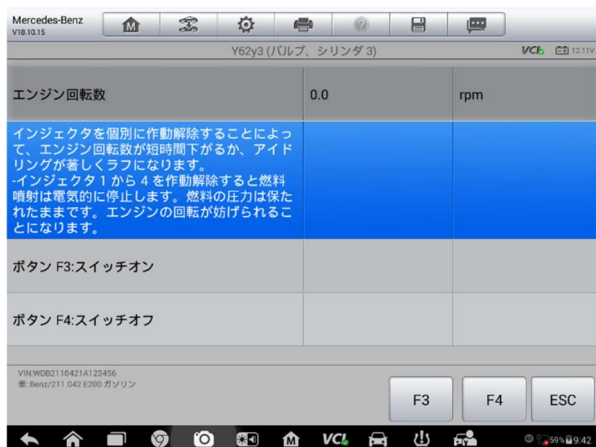


図 4- 12 アクティブなテスト画面のサンプル

アクティブテスト画面の右下隅にある機能ボタンは、テスト信号を操作します。操作手順は、テスト画面のメインセクションに表示されます。画面上の指示に従い、適切な選択を行ってテストを完了します。操作が正常に実行されるたびに、「Command Finished」、「Activation Successful」などのメッセージが表示されます。

終了したら、ESC 機能ボタンをタップしてテストを終了します。

## 1. 12. 6 特殊機能

これらの機能は、さまざまなコンポーネントの適合を実行し、修理または交換後に特定のコンポーネントを再調整または構成することができます。

適応操作画面のメインセクションには、主に次の 4 つの部分で構成される操作および車両ステータス情報のリストが表示されます。

1. 一番上の行の最初の部分には、実行中の操作の説明が表示され、右側には、完了、アクティブ化などの実行ステータスが表示されます。
2. 2 番目の部分は、選択されている操作を実行するための前提条件または要件を示しています。
3. 3 番目の部分には、2 番目の部分で提案された前提条件と比較するために、学習中の車両制御モジュールの現在の状態が表示されます。制御モジュールの現在の状態が推奨制限値を超えている場合、要件を満たすように車両の状態を調整する必要があります。

- 最後の部分には、画面の右下隅にある機能ボタンを使用してティーチイン操作を操作する方法の指示が表示されます。

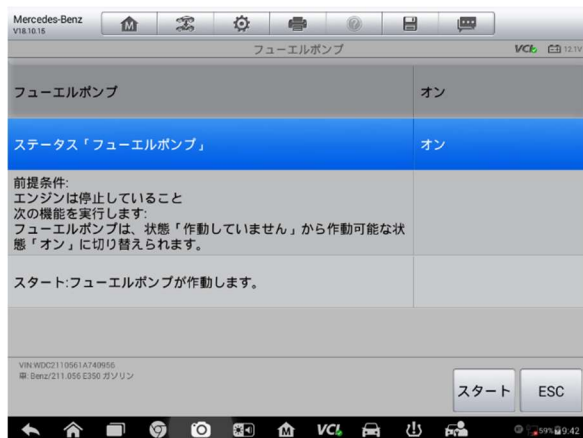


図 4- 13 適応操作画面のサンプル

情報を注意深く読み、それに応じて車両の状態を確認してください。車両が適応を実行する準備が整っていることが確実な場合は、提供された指示に従って適切な選択を行ってください。操作が完了すると、完了、完了、成功などの実行ステータスメッセージが表示されます。

ESC ボタンをタップして、機能を終了します。

## 1.13 サービス

サービスセクションは、さまざまなスケジュールされたサービスおよびメンテナンスパフォーマンスのために車両システムにすばやくアクセスできるように特別に設計されています。典型的なサービス操作画面は、一連のメニュー方式のエグゼクティブコマンドです。画面の指示に従って適切な実行オプションを選択し、正しい値またはデータを入力し、必要なアクションを実行することにより、システムはさまざまなサービス操作の完全なパフォーマンスをガイドします。

最も一般的に実行されるサービス機能は次のとおりです。

- オイルリセットサービス
- TPMS プログラミングサービス
- EPB サービス
- ABS / SRS サービス

- SAS キャリブレーションサービス
- DPF 再生サービス

### 1.13.1 機能説明

このセクションでは、車両サービスの主な機能について説明します。

#### オイルリセットサービス

この機能により、エンジンオイルライフシステムのリセットを実行できます。これにより、車両の運転条件と気候に応じて最適なオイルライフ変更間隔が計算されます。オイルが交換されるたびにオイルライフリマインダーをリセットする必要があるため、システムは次のオイル交換がいつ必要かを計算できます。

#### タイヤ空気圧監視システム (TPMS) サービス

この機能を使用すると、車両の ECU からタイヤセンサー ID をすばやく検索できるだけでなく、タイヤセンサーの交換後に TPMS プログラミングとリセット手順を実行できます。

#### 電動パーキングブレーキ (EPB) サービス

この機能には、電子ブレーキシステムを安全かつ効果的に維持するための多数の用途があります。アプリケーションには、ブレーキ制御システムの無効化と有効化、ブレーキ液制御の支援、ブレーキパッドの開閉、ディスクまたはパッドの交換後のブレーキの設定などが含まれます。

#### ABS / SRS サービス

この機能を使用すると、自動ブリード、ポンプモーターテスト、モジュール情報の確認など、さまざまな双方向テストを実行して、アンチロックブレーキシステムと補助拘束システムの両方の動作状態を確認できます。

#### ステアリング角度センサー (SAS) サービス

このサービス機能を使用すると、現在のステアリングホイールの位置を直進位置としてステアリングアングルセンサーEEPROM に永続的に保存するステアリングアングルセンサーのキャリブレーションを実行できます。キャリブレーションが正常に完了すると、ステアリング角度センサーの障害メモリーが自動的にクリアされます。

#### DPF 再生サービス

Diesel Particulate Filter サービス機能は、DPF フィルターに捕捉された粒子状物質を連続的に燃焼させることで詰まりを解消する DPF クリーニング操

作である再生手順を実行します。車両の DPF ライトが点灯し、DPF 再生サイクルを正常に完了すると、DPF ライトが自動的にオフになることに気付くでしょう。

## 1.14 一般的な OBD II 操作

OBD II / EOBD 車両診断の高速アクセスオプションは、車両メニュー画面で利用できます (図 4-7)。このオプションは、DTC の確認、誤動作インジケータランプ (MIL) の点灯原因の特定、排出ガス認証テストの前のモニターステータスの確認、修理の確認、排出ガスに関連する他の多くのサービスを実行する簡単な方法を提供します。OBD ダイレクトアクセスオプションは、診断データベースに含まれていない OBD II / EOBD 準拠車両のテストにも使用されます。

画面上部の診断ツールバーボタンの機能は、特定の車両診断で使用可能なものと同じです。詳細については、25 ページの表 4-2 診断ツールバーボタンを参照してください。

### 1.14.1 一般的な手順

#### ➤ OBD II / EOBD 診断機能にアクセスするには

1. MaxiSys ジョブメニューから **診断アプリケーションボタン** をタップします。車両メニューが表示されます。
2. **EOBD ボタン** をタップします。車両との通信を確立するには、2 つのオプションがあります。
  - **自動スキャン**-このオプションを選択すると、診断ツールは各プロトコルを使用して通信を確立し、車両がブロードキャストしているプロトコルを判別します。
  - **プロトコル**-このオプションを選択すると、画面にさまざまなプロトコルのサブメニューが開きます。通信プロトコルは、ECM と診断ツール間のデータ通信の標準化された方法です。グローバル OBD は、いくつかの異なる通信プロトコルを使用する場合があります。



3. プロトコルオプションで特定のプロトコルを選択します。OBD II 診断メニューが表示されるまで待ちます。



図 4- 14 OBD II 診断メニューのサンプル

注：機能名の横に表示されている ⓘ ボタンをタップすると、追加の機能情報が表示されたバブルが開きます。

4. 機能オプションを選択して続行します。

- DTC & FFD
- I / M の準備
- ライブデータ
- O2 センサーモニター
- オンボードモニター
- コンポーネントテスト
- 車両情報
- 車両ステータス

注：一部の機能は、特定の車両メーカーでのみサポートされています。

## 1. 14. 2 機能説明

このセクションでは、各診断オプションのさまざまな機能について説明します。

## DTC & FFD

この機能を選択すると、画面に保存済みコードと保留中コードのリストが表示されます。特定の DTC のフリーズフレームデータを表示できる場合、DTC アイテムの右側にスノーフレイクボタンが表示されます。画面の下部にある機能ボタンをタップすると、コードの消去機能を適用できます。

図 4-15 DTC および FFD 画面のサンプル



- **保存されたコード**

格納されているコードは、車両の ECM からの現在の排出関連の DTC です。OBD II / EOB D コードには、排出の重大度に応じた優先度があり、優先度の高いコードは優先度の低いコードを上書きします。コードの優先度により、MIL の照明とコード消去手順が決まります。製造業者はコードを異なってランク付けするので、メーカーの違いを見ることを期待してください。

- **保留中のコード**

これらは、最後の駆動サイクル中に設定条件が満たされたコードですが、DTC が実際に設定される前に 2 つ以上の連続した駆動サイクルで満たされる必要があります。このサービスの使用目的は、運転サイクル後のテスト結果を報告することにより、車両修理後および診断情報の消去後のサービス技術者を支援することです。

- a) 運転サイクル中にテストが失敗した場合、そのテストに関連付けられた DTC が報告されます。保留中の障害が 40~80 のウォームアップサイクル内に再び発生しない場合、障害はメモリーから自動的にクリアされます。

- b) このサービスによって報告されるテスト結果は、必ずしもコンポーネントまたはシステムの障害を示しているわけではありません。追加の運転後にテスト結果が別の障害を示す場合、DTC は障害のあるコンポーネントまたはシステムを示すように設定され、MIL が点灯します。

- **フレームのフリーズ**

ほとんどの場合、保存されたフレームは最後に発生した DTC です。車両の排出ガスに大きな影響を与える特定の DTC は、優先度が高くなっています。これらの場合、最優先の DTC は、フリーズフレームレコードが保持される DTC です。フレームデータのフリーズには、DTC の設定時の重要なパラメータ値の「スナップショット」が含まれます。

- **コードの消去**

このオプションを使用して、DTC、フリーズフレームデータ、車両の ECM からのメーカー固有の拡張データなど、すべての排出関連の診断データをクリアし、すべての車両モニターの I / M 準備モニターステータスを待受停止または未完了ステータスにリセットします。

データの偶発的な損失を防ぐために、コードのクリアオプションを選択すると、確認画面が表示されます。確認画面では **はい** を選択して続行するか、**いいえ** を選択して終了します。

## I / M の準備

この機能は、監視システムの準備状況を確認するために使用されます。これは、車両が州の排出ガス規制に準拠しているかどうかを検査する前に使用する優れた機能です。I / M 準備を選択すると、次の 2 つの選択肢があるサブメニューが開きます。

- **DTC がクリアされた後**-DTC が最後に消去されてからのモニターのステータスを表示します。
- **この運転サイクル**-現在の運転サイクルの開始以降のモニターのステータスを表示します。

## ライブデータ

この機能は、ECU からのリアルタイム PID データを表示します。表示されるデータには、アナログ入力と出力、デジタル入力と出力、および車両データストリームでブロードキャストされるシステムステータス情報が含まれます。

ライブデータはさまざまなモードで表示できます。詳細については、37 ページの [4.6.4 ライブデータ](#) を参照してください。

## 02 センサーモニター

このオプションを使用すると、車両のオンボードコンピューターから最近実行されたテストの 02 センサーモニターテスト結果を取得および表示できます。

02 センサーモニターテスト機能は、コントローラーエリアネットワーク (CAN) を使用して通信する車両ではサポートされていません。CAN 搭載車両の 02 センサーモニターテストの結果については、[オンボードモニター](#)を参照してください。

### オンボードモニター

このオプションを使用すると、オンボードモニターテストの結果を表示できます。このテストは、整備後または車両の制御モジュールのメモリーを消去した後役に立ちます。

### コンポーネントテスト

このサービスにより、ECM の双方向制御が可能になり、診断ツールが制御コマンドを送信して車両システムを操作できるようになります。この機能は、ECM がコマンドに適切に応答するかどうかを判断するのに役に立ちます。

### 車両情報

このオプションは、車両識別番号 (VIN)、キャリブレーション ID、キャリブレーション検証番号 (CVN)、およびテスト車両のその他の情報を表示します。

### 車両ステータス

このアイテムは、OBD II モジュールの通信プロトコル、取得されたコード量、警報ランプ (MIL) のステータス、およびその他の追加情報が表示されるなど、車両の現在の状態を確認するために使用されます。

## 1.15 診断の終了

診断アプリケーションは、車両とのアクティブな通信がある限り開いたままになります。診断アプリケーションを閉じる前に、診断操作インターフェースを終了して車両とのすべての通信を停止する必要があります。

---

**注：**通信が中断すると、車両の電子制御モジュール (ECM) が損傷する可能性があります。テスト中は、データケーブルや USB ケーブルなどのすべての接続が常に適切に接続されていることを確認してください。すべてのテストを終了してから、テストケーブルを取り外したり、ツールの電源を切ってください。

---

## ➤ 診断アプリケーションを終了するには

1. アクティブな診断画面から、戻るまたは ESC 機能ボタンをタップして、診断セッションを段階的に終了します。または
2. 診断ツールバーの車両交換ボタンをタップして、車両メニュー画面に戻ります。
3. 車両メニュー画面から、上部のツールバーのホームボタンをタップします。または、画面の下部にあるナビゲーションバーの戻るボタンをタップします。または
4. 診断ツールバーのホームボタンをタップして、アプリケーションを直接終了し、MaxiSys ジョブメニューに戻ります。

これで、診断アプリケーションは車両と通信なくなり、他の MaxiSys アプリケーションを開いたり、MaxiSys 診断システムを終了してアンドロイドシステムのホーム画面に戻っても安全です。

## 第5章 データマネージャーの操作

データマネージャーアプリケーションは、保存されたファイルの保存、印刷、および確認に使用されます。ほとんどの操作はツールバーで制御されます。

データマネージャーアプリケーションを選択すると、ファイルシステムメニューが開きます。さまざまなファイルタイプがさまざまなオプションで個別にソートされ、表示または再生する情報ファイルには6つのタイプがあります。



図 5-1 サンプルデータマネージャーのメイン画面

## 1.16 操作

データマネージャーの操作は、ツールバーコントロールに基づいています。詳細については、次のセクションで説明します。

### 1.16.1 画像ファイル




画像セクションは、キャプチャされたすべてのスクリーンショット画像を含む JPG データベースです。







図 5- 2 サンプル画像データベース画面

1. ツールバーボタン-画像ファイルの編集、印刷、削除に使用します。詳細については、55 ページの表 5-1 の JPG データベースのツールバーボタンを参照してください。
2. メインセクション-保存された画像を表示します。

表 5-1 JPG データベースのツールバーボタン

ボタン	名称	説明
	戻り	前の画面に戻ります。
	編集を入力	このボタンをタップすると、画像情報を印刷、削除、または表示するための編集ツールバーが表示されます。
	キャンセル	このボタンをタップすると、編集ツールバーが閉じるか、ファイル検索がキャンセルされ

		ます。
	検索	車両名、テストパス、ファイル名、またはファイル情報を入力して、画像ファイルをすばやく見つけます。
	情報	このボタンをタップすると、画像の詳細を表示するウィンドウが開きます。
	印刷	このボタンをタップすると、選択した画像が印刷されます。
	削除	このボタンをタップすると、選択した画像が削除されます。

➤ **画像情報を編集するには**

1. MaxiSys ジョブメニューから**データマネージャー**アプリケーションを選択します。
2. **画像**を選択して、JPG データベースにアクセスします。
3. 画像を選択してフルスクリーンで表示します。
4. 画面を1回タップすると、編集ツールバーが表示されます。
5. **情報**ボタンをタップして、画像情報を表示するウィンドウを開きます。
6. ウィンドウの右上隅にある**編集**ボタンをタップします。編集画面が表示されます。
7. 新しいファイル名とファイル情報を入力して、画像情報を編集します。
8. **完了**をタップして情報を保存して終了するか、**キャンセル**をタップして保存せずに終了します。

➤ **選択した画像を削除するには**

1. MaxiSys ジョブメニューから**データマネージャー**アプリケーションを選択します。
2. **画像**を選択して、JPG データベースにアクセスします。
3. **編集**を入力ボタンをタップして、編集ツールバーを表示します。
4. サムネイル画像をタップして削除する必要がある画像を選択する

と、選択したサムネイルの右下隅にチェックアイコンが表示されま  
す。

5. **削除ボタンをタップし、選択を削除をタップすると、**選択した画像  
が削除されます。

## 1.16.2 PDF ファイル

PDF セクションには、保存されたデータのすべての PDF ファイルが保存および  
表示されます。PDF データベースを入力した後、保存された情報を表示する PDF  
ファイルを選択します。

このセクションでは、ファイルの表示と編集に標準の Adobe Reader アプリケー  
ションを使用しています。詳細な手順については、関連する Adobe Reader  
のマニュアルを参照してください。

## 1.16.3 データの確認

Review Data セクションでは、ライブデータストリームの記録されたデータフ  
レームを再生できます。

Review Data メイン画面で、再生するレコードファイルを選択します。

名	値	レンジ	単位
<input type="checkbox"/> Numbers of DTCs ●	2	0...127	
<input type="checkbox"/> エンジン冷却水 ●	88	0...130	°C
<input type="checkbox"/> エンジン回転 ●	6000	0...7000	rpm
<input type="checkbox"/> 車速セン ●	0	0...240	km/h
<input type="checkbox"/> OBD requirements to which vehicle is design. ●	OBDII		
<input type="checkbox"/> MIL作動期間中の走行距 ●	0	0...65535	Km

図 5- 3 データ再生画面のサンプル

1. **ドロップダウンツールバー**—画面の上部中央にあるボタンをタップして、  
ドロップダウンツールバーを開きます
2. **メインセクション**—記録されたデータフレームを表示します



### 3. ナビゲーションツールバーデータの再生を操作できます

ナビゲーションツールバーのボタンを使用して、フレーム間でレコードデータを再生します。

データの再生を終了するには、**戻る**をタップします。

## 1.16.4 アプリマネージャー

このセクションでは、MaxiSys 診断システムにインストールされている内部プログラムアプリケーションを管理できます。このセクションを選択すると、利用可能なすべての車両診断アプリケーションを確認できる管理画面が開きます。

車のブランドアイコンをタップして、削除する車両ソフトウェアを選択します。選択したアイテムの右上隅に青いチェックマークが表示されます。システムデータベースからソフトウェアを削除するには、トップバーの**削除**ボタンをタップします。

## 1.16.5 データロギング

データロギングセクションでは、サポートプラットフォームを直接起動して、診断システム上のすべての送信済みまたは未送信（保存済み）データロギングのすべてのレコードを表示できます。詳細については、86 ページの [10.5 のデータロギング](#)を参照してください。

## 第6章 MaxiFix 操作

MaxiFix アプリケーションは、オンライントラブルシューティングデータベースを起動します。これは、ほとんどの車両にほぼすべての一般的な診断トラブルコード (DTC) データベースを提供するだけでなく、他の MaxiSys ユーザーとのネットワークを可能にするフォーラムとしても機能し、実証済みの修正プログラムとともに、修復と診断のヒントの膨大なデータベースでもあります。

MaxiFix は豊富なトラブルシューティング情報を提供しますが、データベースは、報告されたソリューションケースと世界中の MaxiSys ユーザーのアドバイザリレポートを記録することにより、毎日のトラブルシューティングリソースで成長し続けます。

MaxiFix データベースの情報は、テスト車両の特定の問題の根本原因にすばやくつながるように設計された一連の診断ヒントにまとめられており、さまざまな診断問題の解決策をすばやく見つけるのに役立ちます。

## 1.17 ナビゲーション

MaxiFix プラットフォームを起動する前に、オンラインアカウントにデバイスを登録する必要があります。詳細については、81 ページの [10.1 製品登録](#) を参照してください。

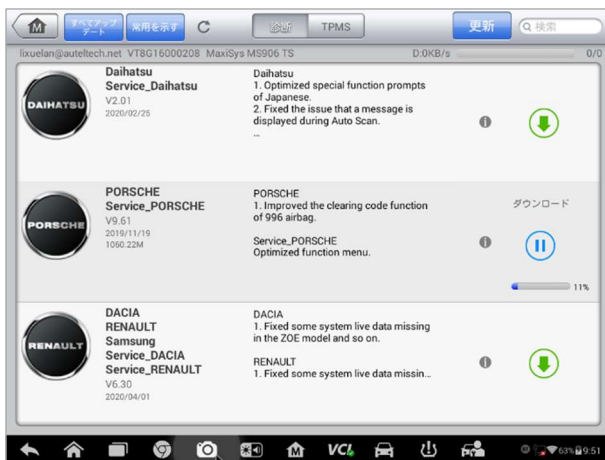


図 6-1 MaxiFix ホームページのサンプル

MaxiFix 画面レイアウトは、3つの主要な領域で構成されています。

1. **ヘッダー**—画面上部のツールバーで、車両を選択して検索を実行できます。
2. **メイン画面**—画面の中央にあり、指定された車両属性とキーワードに基づいてコンテンツを表示します。メイン画面のタブは、ナビゲーションメニューで選択したセクションによって異なり、機能を切り替えることができます。
3. **ナビゲーションメニュー**—画面下部のメインメニューであり、MaxiFix のさまざまなセクションにアクセスできます。

### ヘッダー

画面上部のヘッダーには次の機能があります。

- 車両識別ウィンドウを開くための車両選択ボタン、および車両情報バー（「2014>ヒュンダイ>アコードクーペ> L4-2.4L (K24W1)」など）。
- キーワード、コード、または問題を入力して関連情報を見つけるための検索フィールド。

## 車両ボタンを選択

ヘッダーの[車両の選択]ボタンを使用すると、一連のオプションリストから各車両属性を選択することで、MaxiFix で参照する車両を指定できます。この機能は、識別された車両に適用される情報のみを表示できる検索を除外するに役立ちます。

注：最も効率的な検索結果を得るには、すべての属性を指定して車両を完全に選択する必要があります。

### ➤ 車両を選択するには

以下の手順に従って車両を選択してください。

1. まだ行っていない場合は、ヘッダーの[車両を選択]ボタンをクリックします。
2. リストから車両の**年**を選択します。
3. リストから車両の**メーカー**を選択します。
4. リストから車両の**モデル**を選択します。
5. リストから車両の**サブモデル**を選択します。
6. リストから車両の**エンジン**を選択します。

車両の選択手順が完了すると、識別された車両がヘッダーに表示されます。

## 1.17.1 用語

### MaxiFix ヒント

MaxiFix ヒントは、特定の車両修理問題の実際の修正に関する実用的な情報と詳細な説明を提供します。実績のある修正および車両固有のデータと組み合わせられ、オールインワンの情報ソースにファイルされ、迅速かつ簡単な修理ソリューションを提供します。

MaxiFix コミュニティでは、他のコミュニティメンバーが車両の問題を解決するのに役立つヒントを見つけるか、独自のヒントを共有できます。

### ➤ MaxiFix ヒントを検索するには

1. 車両を選択：
  - a) ページ上部のヘッダーにある「車両を選択」ボタンをクリックします。
  - b) リストから車両の**年**を選択します。

- c) リストから車両の**メーカー**を選択します。
- d) リストから車両の**モデル**を選択します。
- e) リストから車両の**サブモデル**を選択します。
- f) リストから車両の**エンジン**を選択します。

車両の選択手順が完了すると、識別された車両がヘッダーに表示されます。

## 2. 検索用語を入力します。

MaxiFix には、ワンクリックですべての MaxiFix リソースを見つけるのに役立つ排他的なワンストップ検索アップがあります。検索を開始するには、ヘッダーの検索バーに検索語を入力するだけです。

## 3. 実績のある結果！

強力な MaxiFix データベースにより、実証済みの結果が得られます！典型的な MaxiFix ヒントは、実際のワークショップの修正と以下を含むデータを組み合わせたものです。

- a) OBDII 障害コードの説明とリファレンス-初心者および上級技術者が効果的な修理を行えるように、自動車の問題の性質を明確にすることにより、診断評価に役立ちます。
- b) 実際の修正のヒント-実際のショップのプラクティスからの修理のヒントを提供し、わかりやすい苦情、原因、修正の形式で表示されます。

それでも必要な情報が見つからない場合は、画面下部のナビゲーションメニューで質問をクリックして、MaxiFix コミュニティに助けを求めることができます。

## 採用された！

「採用された！」ヒントページの右上に表示されるアイコンは、関連するヒントがコミュニティの少なくとも 1 人の技術者によって採用されたことを示します。修理の問題を解決するのに役立つヒントがあれば、採用された！を出すのはお勧めです。ヒントを数えます。ヒントごとに各メンバーは「採用された」を一回クリックできます。クリックするたびに「採用された」の総数に 1 カウントが加算されます。「採用された」カウントは、車両の問題を修復するのに本当に役立つヒントを簡単に特定するのに役立ちます。また、このヒントが他のメンバーへの参照としてどのように役立つかについてコメントを投稿することもできます。

## 1.18 操作

ナビゲーションメニューは画面の下部にあります。ナビゲーションメニューの項目を選択すると、MaxiFix のメインセクションを切り替えることができます。主なセクションは次のとおりです。

- **ホーム**-すべての質問を表示し、1つまたは複数のメイクに関する質問を指定できます。
- **修正の検索**-未解決の質問、ヒント、実際の修正など、MaxiFix で利用可能なすべてのリソースから情報を検索し、検索結果を表示できます。
- **質問**-コミュニティで質問することができます。
- **My MaxiFix** -コミュニティ内の質問や修正を含むすべての投稿を表示し、個人プロフィールの表示、車両設定の選択、ヒントの共有を行うことができます。
- **マイメッセージ**-質問セクションのアクティビティに関連するメッセージ通知のリストを表示します。
- **サポート**-FAQ ページ、またはカスタマーサービスにメールで連絡するためのメッセージボックスを開きます。

### 1.18.1 ホーム

ホームは、画面下部のナビゲーションメニューの最初のオプションです。それをタップすると、MaxiFix ホームページが開きます。コミュニティに投稿された質問のリストがあります。ページを一番下までスクロールし、「もっと見る」をタップしてさらに質問を表示できます。質問をクリックすると、質問セクションの詳細ページにリンクされます。

ホームのメインページの[フィルター]ボタンをクリックし、目的の車両メーカーに関連する質問のみを表示するようにメイン画面を構成できます。このフィルターは、「すべてのフィルターを削除」ボタンをクリックすることでいつでもキャンセルでき、デフォルトの設定が復元され、すべての車両メーカーに関する質問が表示されます。

### 1.18.2 検索修正機能

画面の下部にあるナビゲーションメニューの 2 番目のオプションである検索修正は、指定された車両の検索結果を表示します。検索結果はさまざまなカテゴリにリストされています。

- **すべて**-検索に関連する質問、ヒント、実際の修正など、すべての検索結果が含まれます。

- **質問**-コミュニティで議論されている、あなたの検索に関連する可能性のある未解決の質問のリストを提示します。
- **ヒント**-検索条件に直接関連するヒントのリストを表示します。リストからヒントを選択して、完全なヒントを開いて確認します。
- **実際の修正**-実際のショップ修理注文から収集されたヒントのリストを提示し、わかりやすい苦情、原因、修正の形式で表示されます。

### 1.18.3 質問

画面の下部にあるナビゲーションメニューの 3 番目のオプションである Ask は、コミュニティの特定の車両修理の問題について質問することができます。

#### ➤ MaxiFix の質問をするには

1. まだ完了していない場合は、ヘッダーの**車両を選択**をクリックして、質問している車両を指定します。
2. 画面の下部にあるナビゲーションメニューの**質問**をクリックして、確認ページを開きます。
3. **質問**ページで**助けを求め**るを見つけ、次のセクションに記入して質問します。

質問ページには 4 つのセクションがあります。

- **件名**-質問の簡単な件名を入力する場所です。
- **私の質問**-コミュニティに尋ねたい、明確で簡潔な質問をします。質問をするときは、わかりやすく簡潔にしてください。
- **問題の説明**-車両の動作を説明します。
- **修復履歴**-テストの結果など、以前に実行した診断テストが含まれます。また、以前の診断作業中に交換された部品もリストします。

「キャンセル」ボタンをタップして質問をキャンセルし、質問ページに戻ります。

「送信」ボタンをタップして、質問をコミュニティに投稿します。

「ファイルを添付」ボタンをタップして、質問に画像または参照ファイルを含めます。

すべての回答から採用回答を 1 つ選択して、質問を閉じるように求められます。詳細については、「マイメッセージ」セクションを参照してください。

## 1.18.4 My MaxiFix

画面下部のナビゲーションメニューの4番目のオプションである My MaxiFix は、個人の MaxiFix ページを開きます。My MaxiFix ページの機能にアクセスするには、タブから選択できます。

- **私の質問**-あなたがコミュニティに投稿した開かれた質問へのリンクを含むリストを開きます
- **マイケース**-コミュニティに貢献した非公開の質問とヒントへのリンクを含むリストを開きます。
- **マークされた投稿**-あなたが積極的に参加しているヒントやディスカッションへのリンクを含むリストを開きます。
- **マイプロフィール**- Autel ID、個人情報、MaxiFix スコア、電話番号、登録時間などの Autel アカウント情報を表示し、ポートレートを編集できます。
- **車両選考**-優先車両のリストを設定するために使用されます。優先リストを使用すると、「車両を選択」リストに表示される選択肢を特定の年と期間に制限できます。「年を設定」または「メーカーを設定」をクリックして、お好みのモデルを設定します。優先メーカーは、ホームページの「フィルター」オプションにも表示されます。
- **ヒントを共有する**-個人的な修理体験をコミュニティと共有できます。

画面の下部にあるナビゲーションメニューの**マイ MaxiFix** をクリックして、コミュニティに貢献したすべての質問とヒントを表示します。

### ヒントの作成

「ヒント」は、特定の車両修理問題の修正を簡潔かつ完全に説明したものです。

#### ➤ 新しい MaxiFix ヒントを作成するには

1. ナビゲーションメニューから **My MaxiFix** を選択します。
2. ヘッダーから**車両を選択**を選択し、ヒントを書いている車両の識別属性を入力します。
3. MaxiFix ページで、**ヒントを共有**を見つけます。このリンクをクリックして、**マイヒントページ**を開きます。
4. **件名**フィールドにヒントの件名を入力します。
5. **説明**フィールドにヒントを作成します。情報を簡潔かつ要点を保ちながら、できるだけ多くの情報を含めます。ヒントは、読みやすい正確な情報を提供する必要があります。

ページの右下にある**キャンセル**ボタンを使用して、ヒントをキャンセル

し、My MaxiFix ページに戻ります。もしくは、  
ページの右下にある**送信**ボタンを使用して、コミュニティにヒントを投稿してください。

ページの左下にある**ファイル**を**添付**ボタンを使用して、質問に画像やその他のサポートデータを含めます。

## プロフィール情報の表示

My MaxiFix セクションでアカウント ID または[マイプロフィール]をクリックして個人プロフィールを表示するか、必要に応じてポートレート編集し、ポートレートをクリックして他のコミュニティメンバーのプロフィールにアクセスできます。プロフィールに含まれる情報によって、コミュニティへの表示方法と、コミュニティから送信される情報の種類が決まります。

### 1.18.5 マイメッセージ

画面下部のナビゲーションメニューの 5 番目のオプションであるマイメッセージには、質問セクションのアクティビティに関連するメッセージ通知のリストが表示されます。質問セクションに新しいメッセージまたは未読のメッセージがある場合、[マイメッセージ]の右上隅に通知アイコンが表示されます。通知アイコンの数字は、新規および未読メッセージの総数を示します。表示後、表示される数はそれに依りて減少します。メッセージ通知は、次の 2 つの条件で表示されます。

1. あなたの質問または回答は、他の MaxiFix コミュニティメンバーによって返信されます。
2. あなたの答えは、質問をした MaxiFix コミュニティメンバーによって「採用された！」としてマークされます。

**マイメッセージ**をタップし、リストから読みたいメッセージを選択して開きます。質問が回答に基づいて解決された場合は、採用された回答を選択して質問を閉じてください。回答に「採用された！」とマークされている場合、「採用された！ + 4」というプロンプトが永久に表示されます。

**クリア**をタップして、すべてのメッセージ通知を削除します。

#### 「採用された回答」の選択

メンバーは、質問を閉じる前に[マイメッセージ]ページのすべての回答から 1 つの採択回答を選択する必要があります。採用された回答を提供したコミュニティメンバーには、貢献に対するスコアが与えられます。



採用された回答について：

- 「採用された回答」として1つの回答しか選択できません。
- 回答は、質問をした MaxiFix メンバーによってのみ評価できます。

### 質問のクローズ

コミュニティに投稿した修復の質問が解決したら、良い解決策を共有する方法としてケースを書き留めることをお勧めします。これは、他の MaxiFix メンバーが実用的な修正に役立つ情報を見つけるのに役立ちます。

質問をクローズするには、最初に「マイメッセージ」ページのメッセージリストから質問の応答メッセージを選択し、次に「採用された回答」をタップして「質問をクローズ」を選択する必要があります。[キャンセル]ボタンをタップして送信をキャンセルし、[マイメッセージ]ページに戻ります。質問をクローズする前に、解決策を共有することを強くお勧めします。質問はクローズされたあとに MaxiFix コミュニティのヒントに変換されます。

### スコア奨励システム

1. 問題をクローズする時点で3点を奨励します。
2. 終了した質問が20人以上のコミュニティメンバーに「採用された」とマークされている場合、4点が付与されます。
3. あなたの答えが「採択された答え」に選ばれれば、4点と奨励します。
4. 「採用された！」とマークされているクローズド質問の回答を「採用された回答」として選択した場合、スコア1が付与されます。20人以上のコミュニティメンバー。
5. 最初の3人の回答者にはそれぞれ1点が付与されます。

## 1.18.6 サポート

画面下部のナビゲーションメニューの最後のオプションであるサポートは、MaxiFix からサポートを得るための2つの方法を提供するページを開きます。

1. MaxiFix の管理者に連絡するためのメッセージフォーム。
2. MaxiFix コミュニティのメンバーから寄せられる最もよくある質問に回答するよくある質問 (FAQ) リンク。

このサイトの管理者に連絡したい場合は、連絡フォームを使用してください。ナビゲーションメニューから[サポート]を選択して、コメントウィンドウを開きます。管理者が質問や問題に回答できるようにするには、次の情報を提供する必要があります。

- お名前
- 連絡先メールアドレス
- 電話番号

## 第7章 設定操作

設定アプリケーションを選択すると、セットアップインターフェースが開きます。セットアップインターフェースでは、デフォルト設定を調整し、MaxiSys システムに関する情報を表示できます。MaxiSys システム設定には7つのオプションがあります。

- ユニット
- 言語
- 印刷設定
- 通知センター
- About
- システム設定
- ファームウェア

### 1.19 操作

ここでは、設定の操作手順について説明します。

#### 1.19.1 ユニット

このオプションを使用すると、診断システムの測定単位を調整できます。

➤ **ユニット設定を調整するには**

1. MaxiSys ジョブメニューで**設定アプリケーション**をタップします。
2. **ユニット**左の列のオプションをタップします。
3. 必要な測定単位、メトリックまたは英語を選択します。選択したユニットの右側にチェックアイコンが表示されます。
4. MaxiSys ジョブメニューに戻るには、左上隅にある**ホーム**ボタンをタップします。または、システムセットアップの別の設定オプションを選択します。

#### 1.19.2 言語

このオプションを使用すると、MaxiSys システムの表示言語を調整できます。

➤ **言語設定を調整するには**

1. MaxiSys ジョブメニューで**設定アプリケーション**をタップします。
2. 左の列の**言語オプション**をタップします。
3. 必要な言語を選択します。選択した言語の右側に**チェックアイコン**が表示されます。
4. MaxiSys ジョブメニューに戻るには、左上隅にある**ホームボタン**をタップします。または、システムセットアップの別の**設定オプション**を選択します。

### 1.19.3 印刷設定

このオプションを使用すると、Wi-Fi 接続を介していつでもどこでもデータや情報を印刷できます。印刷の詳細については、19 ページの [3.3.1 印刷操作](#) を参照してください。

➤ **プリンター接続をセットアップするには**

1. MaxiSys ジョブメニューで**設定アプリケーション**をタップします。
2. 左の列の**印刷設定オプション**をタップします。
3. **ネットワーク経由**で印刷]項目をタップして印刷機能を有効にします。これにより、デバイスは Wi-Fi 接続経由で PC を介してプリンターにファイルを送信できます。
4. MaxiSys ジョブメニューに戻るには、左上隅にある**ホームボタン**をタップします。または、システムセットアップの別の**設定オプション**を選択します。

### 1.19.4 通知センター

このオプションを使用すると、通知センター機能をオンまたはオフにできません。通知センター機能は、システム更新通知またはその他のサービス情報に関するインターネットからの定期的なオンラインメッセージをサーバーから受信するようにディスプレイタブレットを構成します。この機能を常にオンにしておくことを強くお勧めします。これにより、MaxiSys の新しい更新や Autel からのイベントを見逃すことはありません。オンラインメッセージを受信するには、インターネットアクセスが必要です。

➤ **通知センター機能を有効にするには**

1. MaxiSys ジョブメニューで**設定アプリケーション**をタップします。

2. 左の列の**通知センター**オプションをタップします。
3. **ON / OFF** ボタンをタップして、通知機能を有効または無効にします。機能が有効になっている場合、ボタンは青に変わり、無効になっている場合、ボタンは灰色になります。
4. MaxiSys ジョブメニューに戻るには、左上隅にある**ホーム**ボタンをタップします。または、システムセットアップの別の設定オプションを選択します。

通知センター機能がオンになっており、MaxiSys デバイスが新しいメッセージを受信すると、MaxiSys ジョブメニューに通知メッセージが表示されます。メッセージバーを押して下にドラッグすると、受信したメッセージがリストに表示されます。メッセージリストが複数の画面にまたがっている場合は、リストを上下にスライドしてすべて表示します。

特定のメッセージをタップすると、対応するアプリケーションが起動します。たとえば、更新通知メッセージをタップすると、更新アプリケーションが起動します。

## 1. 19.5 About

About オプションは、製品名、バージョン、ハードウェア、シリアル番号などに関する MaxiSys 診断デバイスの情報を提供します。

### ➤ MaxiSys 製品情報を確認するには

1. MaxiSys ジョブメニューで**設定**アプリケーションをタップします。
2. 左の列のオプションについてをタップします。製品情報画面が右側に表示されます。
3. 表示後、左上隅の**ホーム**ボタンをタップして MaxiSys ジョブメニューに戻るか、セットアップユーティリティの別の設定オプションを選択します。

## 1. 19.6 システム設定

このオプションは、アンドロイドバックグラウンドシステム設定インターフェースへの直接アクセスを提供します。このインターフェースでは、アンドロイドシステムプラットフォームのさまざまなシステム設定、ワイヤレス設定、サウンドやディスプレイなどのさまざまなデバイス設定、システムセキュリティ設定を調整できます、アンドロイドシステムなどの関連情報を確認します。

- **アプリの切り替え機能を有効にするには**
  1. MaxiSys ジョブメニューで**設定**アプリケーションをタップします。
  2. 左の列の**システム設定**オプションをタップします。
  3. 左の列の**アプリスイッチャー**オプションをタップします。
  4. 画面の右側にある「常にアプリスイッチャーを表示」の横にあるチェックボックスをオンにすると、アプリスイッチャーアイコンが表示されます。

アプリスイッチャーアイコンを短く押すと、コントロールパネルが開きます。

- 特定のアプリのショートカットボタンをタップすると、選択したアプリケーション画面に直接切り替えることができます。
- 特定のアプリのショートカットボタンを長押しすると、アプリメニューが表示されます。このメニューで、アプリのショートカットを選択および変更できます。
- アプリスイッチャーアイコンを押してドラッグすると、画面の端に沿ってアイコンの位置を変更できます。

アンドロイドシステム設定の詳細については、アンドロイドのドキュメントを参照してください。

## 1.19.7 ファームウェア

このオプションを使用すると、インターネット経由でディスプレイタブレットに組み込まれた車両通信ファームウェアを更新できます。

ファームウェアを更新する前に、ディスプレイタブレットが電源に接続され、ネットワークが安定していることを確認してください。

- **ファームウェアをアップデートするには**
  1. ディ스플레이タブレットを電源に接続します。
  2. MaxiSys ジョブメニューで**設定**アプリケーションをタップします。
  3. 左の列の**ファームウェア**オプションをタップします。
  4. ファームウェアの現在のバージョンと最新バージョンが表示されます。ファームウェアを更新するには、**今すぐ更新**をタップします(可能な場合)。










## 第 8 章 ショップマネージャー操作



ショップマネージャーアプリケーションは、ワークショップ情報、顧客情報記録を管理し、テスト車両の履歴記録を保持するのに役立ちます。これは、毎日のワークショップビジネスに対処し、顧客サービスを改善するのに非常に役立ちます。使用可能な主な機能は 3 つあります。

- 車両履歴
- ワークショップ情報
- カスタマーマネージャー

ショップマネージャーアプリケーションのこれらの機能の操作は、主に以下の表にリストされ、説明されているツールバーボタンによって操作されます。

表 8- 1 ショップマネージャーの上部ツールバーボタン

ボタン	名称	説明
	戻り	前の画面に戻ります。
	診断	このボタンをタッチすると、車両の診断画面が表示され、直接テストセッションが有効になります。
	編集を入力	このボタンをタッチすると、選択したファイルを印刷または削除するための編集ツールバーが表示されます。
	削除	このボタンをタッチすると、選択した車両記録項目がリストから削除されます。
	検索	車両名またはテストパスを入力して、車両レコードをすばやく見つけます。
	キャンセル	編集またはファイル検索をキャンセルするには、このボタンをタッチします。
	編集	このボタンをタッチすると、表示されているファイルの情報を編集できます。
	アカウントを追加	このボタンをタッチして、新しい顧客アカウントファイルを作成します。
	履歴ノート	このボタンをタッチするとメモフォームが開き、音声記録の作成、画像やビデオの添付、テキ

ボタン	名称	説明
		ストメモの編集などができます。
	車両の歴史	このボタンをタッチすると、関連付けられたテスト車両の記録を表示する車両履歴画面が開きます。
	完了	編集を完了し、ファイルを保存します。

## 1.20 車両の歴史

この機能は、車両情報と以前の診断セッションから取得したトラブルシューティング・コードが含まれるテスト車両の履歴を保存します。すべての情報がチェックしやすいテーブルのリストに表示されます。このテーブルのリストでは、要約された詳細を表示したり、テスト車両や診断レコードなどの追加情報を手動で入力したりできます。車両履歴を使用すると、以前にテストした車両に直接アクセスでき、車両の識別を再度行うことなく診断セッションを再開できます。

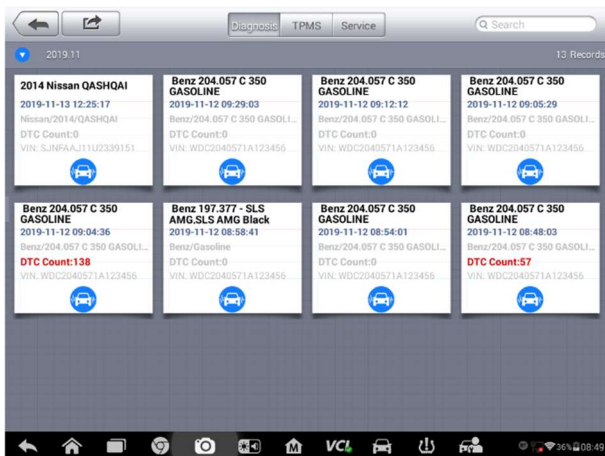


図 8-1 車両履歴画面のサンプル

1. 上部ツールバーボタン-アプリケーションのさまざまなコントロールをナビゲートして作成します。
2. メインセクション-すべての車両履歴レコード情報を表示します。

- **記録された車両のテストセッションをアクティブにするには**
1. MaxiSys ジョブメニューでショップマネージャーアプリケーションをタップします。
  2. **車両履歴**を選択
  3. 車両記録項目のサムネイルの下部にある**診断**ボタンをタップします。もしくは、
  4. サムネイルをタップして車両記録項目を選択します。
  5. 履歴テスト記録シートが表示され、記録されたテスト車両の記録された情報を確認し、右上隅の**診断**ボタンをタップします。
  6. 車両の診断画面が表示され、新しい診断セッションが有効になりました。車両診断操作の詳細な手順については、21 ページの **4.6 診断** を参照してください。

### 1.20.1 履歴テスト記録

テスト対象車両の履歴テストシートは、車両の年、ブランド、モデルなどすべての共通情報と、前のテストで検出された診断エラーコード、および技術者が手動で追加できるその他のサービスの詳細を記載した詳細なデータシートです。



図 8- 2 履歴テスト記録シートのサンプル

- **履歴テストの記録シートを編集するには**
1. MaxiSys ジョブメニューでショップマネージャーアプリケーションをタップします。
  2. **車両履歴**を選択します。



3. メインセクションから特定の車両履歴レコードのサムネイルを選択します。履歴テストの記録シートが表示されます。
4. **編集ボタン**をタップして編集を開始します。
5. 各項目をタップして、対応する情報を入力するか、添付ファイルまたは画像を追加します。

**注：**車両のVIN番号またはライセンスと顧客情報アカウントは、デフォルトで関連付けられています。情報の1つを追加すると、レコードシート内の他のアイテムが自動的に関連付けられます（後者のアイテムが存在する場合）。

6. **顧客に追加**をタップして、履歴テスト記録シートを既存の顧客アカウントに関連付けます。または、テスト車両の記録と関連付ける新しい関連付けアカウントを追加します。詳細については、74ページの [8.3 カスタマーマネージャー](#) を参照してください。
7. **完了**をタップして更新されたレコードシートを保存するか、**キャンセル**をタップして保存せずに終了します。

## 1.21 ワークショップ情報

ワークショップ情報フォームを使用すると、ワークショップの詳細情報を編集、入力、保存できます。たとえば、店名、住所、電話番号、および車両診断レポートやその他の関連するテストファイルを印刷するときに、印刷文書のタイトルとして表示されます。

The screenshot shows a mobile application interface for editing workshop information. At the top, there are two buttons labeled 'ヘッダー画像を設定します' (Set header image) and 'ショップ画像を設定します' (Set shop image), each with a plus sign icon. Below these are several input fields: 'ショップ名' (Shop name), 'ショップ番号' (Shop number), '住所' (Address), '郵便番号' (Postal code), '市' (City), '都道府県' (Prefecture), '電話' (Telephone), '責任者' (Responsible person), '責任者役職' (Responsible person's role), and 'Eメール' (Email). The bottom of the screen shows a standard Android navigation bar with icons for back, home, recent apps, camera, gallery, and other functions.

図 8-3 サンプルワークショップ情報シート

- **ワークショップ情報シートを編集するには**

1. MaxiSys ジョブメニューでショップマネージャーアプリケーションをタップします。
2. **ワークショップ情報**を選択します。
3. 上部のツールバーの**編集**ボタンをタップします。
4. 各フィールドをタップして、適切な情報を入力します。
5. **完了**をタップして更新されたワークショップ情報シートを保存するか、**キャンセル**をタップして保存せずに終了します。

## 1.22 カスタマーマネージャー

カスタマーマネージャー機能を使用すると、カスタマーアカウントを作成および編集できます。これは、関連するテスト車両の履歴レコードと関連付けられているすべての顧客情報アカウントを保存および整理するのに役立ちます。これは、毎日のワークショップビジネスの手配に対する優れたサポートです。

### ➤ 顧客アカウントを作成するには

1. MaxiSys ジョブメニューでショップマネージャーアプリケーションをタップします。
2. **カスタマーマネージャー**を選択します。
3. **アカウントを追加**ボタンをタップします。空の情報フォームが表示されたら、各フィールドをタップして適切な情報を入力します。

---

**注:** 記入する必要のある項目は、必須フィールドとして示されています。

---

4. 名前チャートの横にある **+** フォトフレームをタップして、写真を追加します。サブメニューが表示されます。**写真を撮る**を選択してアカウントの新しい写真を撮影するか、**写真を選択**を選択して既存のファイルから選択します。
5. 顧客によっては、複数のサービス用車両がある場合があります。いつでも新しい車両情報をアカウントに追加して関連させることができます。**新しい車両情報を追加**をタップし、車両情報を入力します。追加をキャンセルするには、**ⓧ** ボタンをタップします。
6. **完了**をタップしてアカウントを保存するか、**キャンセル**をタップして保存せずに終了します。

### ➤ 顧客アカウントを編集するには

1. MaxiSys ジョブメニューでショップマネージャーアプリケーション

をタップします。

2. **カスタマーマネージャー**を選択します。
3. 対応する名前カードをタップして、顧客アカウントを選択します。顧客情報シートが表示されます。
4. 上部のツールバーの**編集**ボタンをタップして、編集を開始します。
5. 変更または補足する必要がある入力フィールドをタップし、更新された情報を入力します。
6. **完了**をタップして更新された情報を保存するか、**キャンセル**をタップして保存せずに終了します。

➤ **顧客アカウントを削除するには**

1. MaxiSys ジョブメニューでショップマネージャーアプリケーションをタップします。
2. **カスタマーマネージャー**を選択します。
3. 対応する名前カードをタップして、顧客アカウントを選択します。顧客情報シートが表示されます。
4. 上部のツールバーの**編集**ボタンをタップして、編集を開始します。
5. **顧客情報を削除**ボタンをタップします。確認メッセージが表示されます。
6. **OK** をタップしてコマンドを確認すると、アカウントが削除されます。**キャンセル**をタップしてリクエストをキャンセルします。

## 1.22.1 履歴ノート

履歴メモ機能を使用すると、オーディオおよびビデオの記録、テキストのメモ、写真を追加して、関連する顧客アカウントのマルチメディア作業ログを保持できます。これは、リピーター顧客を扱うときに非常に役立ちます。各顧客にサービスを提供する各車両のメモを保存することで、常に順調に進み、ビジネスをうまく整理できます。

➤ **履歴メモにアクセスするには**

1. MaxiSys ジョブメニューでショップマネージャーアプリケーションをタップします。
2. **カスタマーマネージャー**または**車両履歴**を選択します。

3. 対応する名前カードをタップして、顧客アカウントを選択します。顧客情報シートが表示されます（カスタマーマネージャーが選択されている場合）。または、車両履歴記録項目を選択して、履歴テスト記録シートを開きます（車両履歴が選択されている場合）。
4. トップバーの履歴メモボタンをタップします。これで、履歴メモ画面が表示されます。









図 8- 4 履歴メモ画面のサンプル

1. 機能ボタンナビゲートし、機能のさまざまな制御を行います
2. メインセクション-左の列にノートリストを表示し、右の列に選択したノートの詳細情報を表示します

表 8-2 履歴メモの機能ボタン

ボタン	名称	説明
	戻り	前の画面に戻ります。
	削除	このボタンをタッチすると、選択したメモが削除されます。
	検索	メモのタイトルを入力して、必要なメモをすばやく見つけます。
	キャンセル	編集またはファイル検索をキャンセルするには、このボタンをタッチします。
	編集	このボタンをタッチすると編集ウィンドウが開き、メモを編集してファイルを添付できます。

ボタン	名称	説明
	メモを追加	このボタンをタッチすると、履歴メモに新しいメモが追加されます。
	音声記録	オーディオ録音を実行し、オーディオファイルを作成します。
	写真を追加	画像ファイルを選択用に関き、選択した写真を履歴メモに追加します。
	ビデオを撮る	ビデオを録画し、ファイルを履歴メモに追加します。
	写真を撮る	写真を撮り、ファイルを履歴メモに追加します。
	保存	メモを保存します。

➤ **履歴メモにメモを追加するには**

1. 履歴メモにアクセスします。
2. 「メモを追加」ボタンをタップします。編集ウィンドウが表示されます。
3. タイトルバーをタップして、メモのタイトルを入力します。
4. テキストのメモまたは発言を編集するには、下の空白スペースをタップします。
5. 上部の機能ボタンを選択して、選択した任意の形式でファイルを追加します。
6. **保存**をタップしてメモを保存します。保存せずに終了するには、**破棄**または**キャンセル**をタップします。

## 第9章 更新操作

MaxiSys 診断システムの内部プログラミングは、更新アプリケーションを介して更新できます。更新は、通常、新しいテスト、新しいモデル、または強化されたアプリケーションをデータベースに追加することにより、MaxiSys アプリケーションの機能を改善します。

ディスプレイデバイスは、インターネットに接続されると、すべての MaxiSys コンポーネントの利用可能な更新を自動的に検索します。見つかった更新プログラムはすべてダウンロードして、デバイスにインストールできます。このセクションでは、MaxiSys 診断システムのアップデートのインストールについて説明します。設定アプリケーションで通知機能が有効になっているときに更新が利用可能な場合、通知メッセージが表示されます(詳細については、[7.1.4 通知センター](#)の67ページを参照してください)。

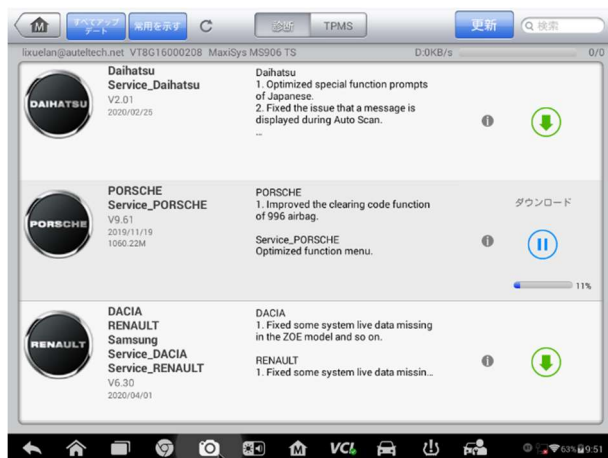


図 9-1 更新画面のサンプル

### 1. ナビゲーションとコントロール

- ホームボタン-MaxiSys ジョブメニューに戻ります。
- すべて更新-利用可能なすべての更新を更新します。
- 検索バー-ファイル名を入力して特定の更新項目を検索します(例: 車両メーカー)。

### 2. ステータスバー

- 左側-MaxiSys デバイスのモデル情報とシリアル番号を表示します。
- 右側-完了ステータスを示す更新プログレスバーを表示します。

### 3. メインセクション

- 左の列-車両のロゴを表示し、ソフトウェアバージョン情報を更新します。
- 中央の列-ソフトウェアの操作または機能の新しい変更に関する簡単な紹介を表示します。① ボタンをタップして情報画面を開き、詳細を表示し、薄暗いエリアをタップしてウィンドウを閉じます。
- 右列-各ソフトウェア項目の操作ステータスに応じて、ボタンの表示が異なります。
  - a) **更新**をタップして、選択したアイテムを更新します。
  - b) **一時停止**をタップして、更新手順を一時停止します。
  - c) **続行**をタップして、中断された更新の更新に進みます。

#### ➤ ソフトウェアを更新するには

1. ディスプレイタブレットがインターネットに安定してアクセスできる電源に接続されていることを確認してください。
2. MaxiSys ジョブメニューからアプリケーションの**更新ボタン**をタップします。または、受信時に更新通知メッセージをタップするか、診断アプリケーションの車両メニューの更新アイコンをタップします。アプリケーションの更新画面が表示されます。
3. 利用可能なすべての更新を確認します。
  - すべてのアイテムを更新する場合は、**すべてをアップデートボタン**をタップします。
  - 1つまたはいくつかのアイテムのみを更新する場合は、特定のアイテムの右側の列にある**更新ボタン**をタップします。
4. **一時停止ボタン**をタップして、更新プロセスを一時停止します。**続行**をタップして更新を更新すると、更新プロセスがブレークポイントから再開されます。
5. 更新プロセスが完了すると、ソフトウェアが自動的にインストールされます。以前のバージョンは置き換えられます。

## 第 10 章 サポート操作

このアプリケーションは、Autel のオンラインサービスベースステーションをディスプレイタブレットと同期させるサポートプラットフォームを起動します。デバイスをオンラインアカウントと同期するには、初めて使用するときにインターネット経由で製品を登録する必要があります。サポートアプリケーションは、Autel のサービスチャネルとオンラインコミュニティに接続されており、問題解決のための最も迅速な方法を提供します。苦情を送信したり、ヘルプリクエストを送信して、直接的なサービスとサポートを取得できます。

### 1.23 製品登録

サポートプラットフォームにアクセスし、Autel から更新およびその他のサービスを取得するには、MaxiSys MS906 診断デバイスを初めて使用するときに登録する必要があります。

#### ➤ 診断デバイスを登録するには

1. ウェブサイト (<http://pro.autel.com>.) にアクセスしてください。
2. すでにアカウントをお持ちの場合は、サインインページで、ログインするためのアカウント ID とその他の情報を入力します。
3. Autel の新規メンバーであり、まだアカウントを持っていない場合は、左側の **Autel ID を作成** ボタンをクリックします。
4. 入力フィールドに必要な情報を入力し、**検証コードを取得** ボタンをクリックして、電子メール検証の検証コードを取得します。
5. オンラインシステムは、登録されたメールアドレスに確認コードを自動的に送信します。検証コードフィールドにコードを入力し、他の必須フィールドに入力します。Autel の利用規約を読んで同意をクリックし、下部にある **Autel ID を作成** をクリックします。製品登録画面が開きます。
6. ディスプレイタブレットの設定アプリケーションの **About** セクションから、デバイスのシリアル番号とパスワードを確認します。
7. デバイスの製品モデルを選択し、製品登録] 画面で製品のシリアル番号とパスワードを入力し、**送信** をクリックして登録手順を完了します。



## 1.24 サポート画面レイアウト

サポートアプリケーションインターフェースは、上部のナビゲーションバーにある 4 つのシンプルなボタンでナビゲートされます。それぞれの操作については、左から右に順に説明します。

- **ホームボタン**-MaxiSys ジョブメニューに戻ります。
- **戻る**-前の画面に戻り、押すたびに 1 ステップ戻ります。
- **進む**-押すたびに、最後にアクセスした画面に達するまで 1 画面ずつ進みます。
- **更新**-画面を再読み込みして更新します。

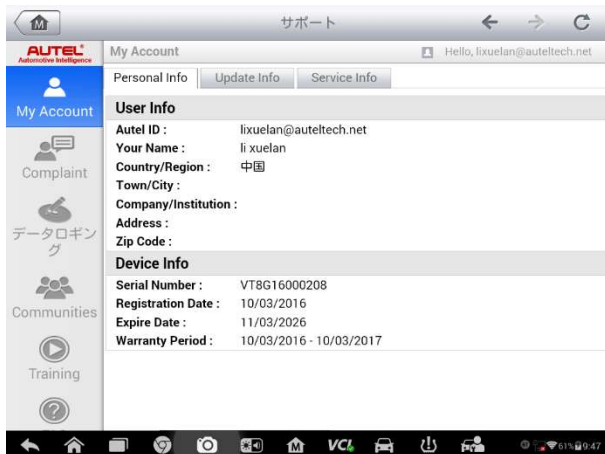


図 10-1 サンプルサポートアプリケーション画面

サポート画面のメインセクションは 2 つのセクションに分かれています。左側の狭い列はメインメニューです。メインメニューから 1 つのサブジェクトを選択すると、対応する機能インターフェースが右側に表示されます。

## 1.25 マイアカウント

マイアカウント画面には、ユーザーと製品の包括的な情報が表示され、ユーザー情報、デバイス情報、更新情報、サービス情報など、オンラインで登録されたアカウントと同期されます。

### 個人情報

ユーザー情報とデバイス情報はどちらも個人情報セクションに含まれていま

す。

- **ユーザー情報**-登録済みのオンライン Autel アカウントの詳細情報 (Autel ID、名前、住所、その他の連絡先情報など) を表示します。
- **デバイス情報**-シリアル番号、登録日、有効期限、保証期間などの登録製品情報を表示します。

## 更新情報

更新情報セクションには、製品のシリアル番号、ソフトウェアのバージョンまたは名前、更新時間など、製品のソフトウェア更新履歴の詳細なレコードリストが表示されます。

## サービス情報

サービス情報セクションには、デバイスのサービス履歴情報の詳細なレコードリストが表示されます。修理のためにデバイスが Autel に送り返されるたびに、デバイスのシリアル番号と詳細な修理情報 (障害タイプ、変更されたコンポーネント、システムの再インストールなど) が記録され、関連するオンライン製品アカウントに更新されます。サービス情報セクションに同期されず。

## 1.26 ユーザーの苦情

ユーザー苦情画面では、新しい苦情ケースを確立したり、過去の苦情記録を表示したりできます。

## 画面レイアウト

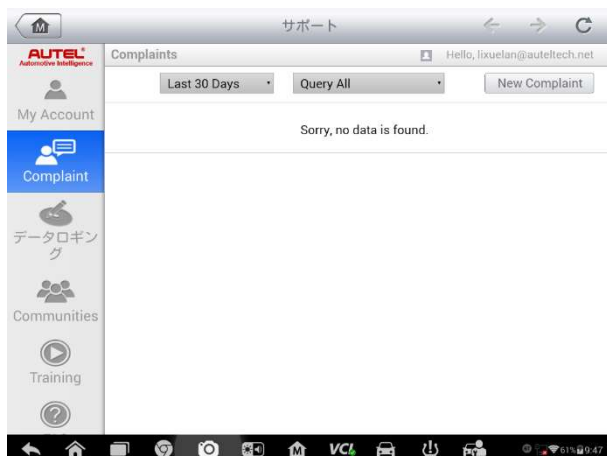


図 10-2 サンプルのクレーム画面

ユーザー苦情画面は 2 つの部分で構成されています。

### 1. オプションバー

- **期間フィルター**—リストに定義された期間内の苦情記録のみを表示します
- **ステータスフィルター**—選択したケースステータスに応じて対応する苦情レコードを表示
- **新しい苦情ボタン**—新しい苦情ケースを開始します。

### 2. 苦情リスト

通常、苦情リストには、すべての時間のすべての苦情レコードとすべてのステータスがデフォルトで表示されます。各苦情項目の概要情報には、サブジェクト名、チケット ID、ユーザーのアカウント ID、日付、およびケースステータスが含まれます。

ケースステータスには 4 種類あります。

- **オープン**—苦情ケースが開始されたが、まだ処理されていないことを示します
- **一時停止**—苦情ケースが処理されていることを示します
- **顧客からの返信待ち**—苦情がサービス担当者から返信されたことを示し、顧客からのフィードバックが必要です

- クローズ-苦情ケースが処理、解決、終了したことを示します
- 詳細な苦情セッションを表示するには、ケースアイテムの右側にある🔍ボタンをタップします。
- **新しい苦情セッションを確立するには**
  1. 製品をオンラインで登録します。
  2. MaxiSys ジョブメニューで**サポートアプリケーション**をタップします。デバイス情報は、オンラインアカウントと自動的に同期されます。
  3. メインメニューで**苦情**をタップします。
  4. 右上の**新しい苦情**ボタンをタップします。サービスチャネルのカテゴリを含む選択メニューが表示されます。
  5. ターゲットサービスチャネルを選択し、**次へ**をクリックして続行します。個人情報、車両情報、デバイス情報などの詳細情報を入力できる標準的苦情フォームが表示されます。また、フォームに画像または PDF ファイルを添付することもできます。
  6. 苦情をより効率的に解決するために、各入力フィールドに適切な情報を入力します。できるだけ詳細に苦情フォームに記入することをお勧めします。
  7. ケースの緊急度に応じて、最後のセクションに必要な処理時間を選択します。
  8. **送信**をタップして、完成したフォームを Autel のオンラインサービスセンターに送信するか、**リセット**をタップして再入力します。提出された苦情は、サービス担当者が注意深く読んで処理します。応答速度は、必要な処理時間によって異なります。
- **苦情セッションで返信するには**
  1. 製品をオンラインで登録します。
  2. MaxiSys ジョブメニューで**サポートアプリケーション**をタップします。デバイス情報は、オンラインアカウントと自動的に同期されます。

3. メインメニューで**苦情**をタップします。
4. 右側の🕒ボタンをタップして、レコードリストの既存の苦情ケースアイテムを選択します。画面に苦情セッションの詳細が表示されます。
5. 表示後、右上の**返信を投稿**ボタンをタップして、返信します。編集画面が表示されます。
6. 入力フィールドにコンテンツを入力し、必要に応じて添付ファイルをアップロードします。
7. **送信**をタップして返信を投稿します。
8. 状態の選択ドロップダウンメニューをタップして、ケースの**状態**をリセットします。
9. アップデートボタンをタップして、最新の**アップデート**をコミットします。

## 1.27 データロギング

データロギングセクションは、診断システム上のすべての送信済みまたは未送信（保存済み）データロギングの記録を保持します。サポート担当者は、サポートプラットフォームを通じて送信されたレポートを受信および処理し、48 時間以内に対応するデータロギングセッションに問題解決策を送り返します。このセッションでは、サポート担当者と直接会話することもできます。

図 10- 3 データロギング画面サンプル



- **データロギングセッションで返信するには**
  1. **送信済みタグ**をタップして、送信されたデータロギングのリストを表示します。
  2. 特定の項目を選択して、処理の進行状況の最新の更新を表示します。
  3. 画面下部の入力フィールドをタップして、テキストを入力します。または、音声ボタンをタップして音声メッセージを録音するか、カメラボタンをタップして写真を撮ります。
  4. **送信**をタップして、テクニカルセンターにメッセージを配信します。

## 1.28 通信

コミュニティセクションが起動し、Autel の公式ウェブサイト [www.autel.com](http://www.autel.com) のテクニカルフォーラムと同期します。このフォーラムでは、AUTEL オンラインサポートコミュニティの他のすべてのメンバーと技術的なトピックについて話し合ったり、情報を共有したり、技術的なアドバイスを求めたり、技術的なサポートを提供したりすることができます。

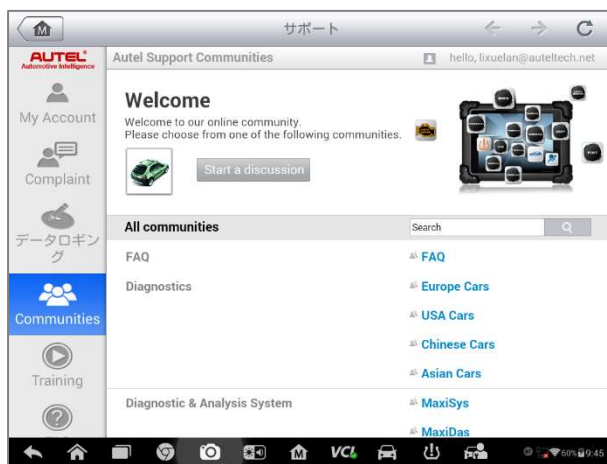



図 10-4 サンプルコミュニティのホーム画面

- **ディスカッションを開始するには**
  1. コミュニティのホーム画面で**ディスカッションを開始**をタップします。主要なフォーラムのリストが表示されます。
  2. 議論しようとしている主題に応じて、目的のグループを選択します。

たとえば、MaxiSys タブレットについて質問する場合は、MaxiSys をタップしてディスカッションを開始します。

3. 適切な入力フィールドにトピックとディスカッションの内容を入力します。
4. 議論した投稿のカテゴリを選択するか、タグを編集します。これは、同様の関心を持つ他のメンバーがあなたの投稿を見つけるのに役立ちます。
5. **OK** をタップして投稿を送信します。

#### ➤ ディスカッション投稿に参加して返信するには

1. コミュニティのホーム画面で、製品または機能を問わず、関心のあるフォーラムグループを選択します。最新の投稿のリストが表示されます。
2. カテゴリメニューで特定のカテゴリを選択して、最も関心のあるトピックをより正確に特定します。
3. トピックアイテムの右側にある  ボタンをタップして、ディスカッションを表示します。投稿の内容が表示されます。
4. 画面を上下にスライドして、すべての投稿を閲覧します。ディスカッションの最後に達したら、**元の投稿に移動** をタップして、最初の投稿に戻ります。
5. **返信** をタップして特定の投稿に返信するか、**元の投稿に返信** をタップしてディスカッションに参加して続行します。
6. 入力フィールドにコメントを入力し、**OK** をタップして投稿を送信します。

## ユーザープロフィール

ユーザープロフィールセクションでは、プロフィール写真の設定、メンバーのステータスやその他の情報の確認、コミュニティでの個人の投稿の確認を行うことができます。

コミュニティ画面でプロフィール写真をタップして、ユーザープロフィールを開きます。

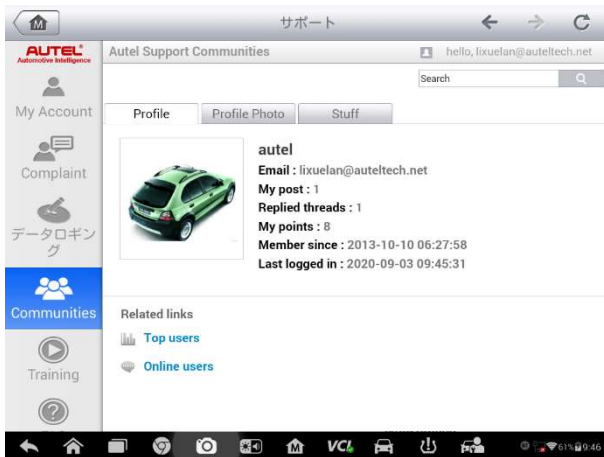


図 10- 5 ユーザープロフィール画面のサンプル

- **プロフィール**-ユーザーの個人情報とメンバーのステータスを表示します。**関連リンク**を使用すると、コミュニティのトップユーザー（ポイントとレベルに応じてランク付け）を確認したり、他のオンラインユーザーを検索したりできます。
- **プロフィール写真**-コミュニティに表示されるプロフィール写真として設定する画像を選択できます。
- **スタッフ**-さまざまなフォーラムに投稿したすべてのディスカッションをリストで表示します。

## 1.29 トレーニングチャンネル

トレーニングセクションでは、Autel のオンラインビデオアカウントへのクイックリンクを提供しています。言語別のビデオチャンネルを選択すると、製品の使用方法や車両診断の練習など、さまざまな技術サポートに関する Autel の利用可能なオンラインチュートリアルビデオがすべて表示されます。

## 1.30 FAQ データベース

FAQ セクションでは、Autel のオンラインメンバーアカウントの使用、ショッピング、支払いの手順についてよくある質問と回答のすべての種類の質問に対する包括的で豊富なリファレンスを提供します。

- **アカウント**-Autel のオンラインユーザーアカウントの使用に関する質問と回答を表示します。



- ショッピングと支払い-オンラインでの製品の購入と支払い方法または手順に関する質問と回答を表示します。

## 第 11 章 トレーニング操作

トレーニングアプリケーションは、デバイスに保存されているさまざまなチュートリアルビデオを提供し、再生できるようにします。保存されているトレーニング資料は、主に製品使用方法のチュートリアルと車両診断トレーニングビデオで構成されており、すべて一流の技術者と製品専門家によって作成されています。このアプリケーションでは、Autel のオンラインビデオデータベースへのクイックリンクを提供することで、関連するビデオをオンラインでダウンロードまたは視聴することもできます。



図 11-1 サンプルトレーニングアプリケーション画面

1. **ナビゲーションボタン**-アプリケーションインターフェースをナビゲートできません。
    - ホームボタン-MaxiSys ジョブメニューに戻ります
    - その他のビデオボタン-安定したネットワーク接続で利用可能なすべてのビデオファイルを表示します
  2. **メインセクション**-視聴可能なビデオファイルを表示します
- **ビデオを再生するには**
1. MaxiSys ジョブメニューで**トレーニングアプリケーション**をタップします。トレーニングアプリケーション画面が表示されます。
  2. メインセクションからビデオファイルを選択します。

- 必要に応じて、ポップアップウィンドウからプレーヤーを選択します。これでビデオを見ることができ、フルスクリーンモードで再生されます。

## 第 12 章 リモートデスク操作

リモートデスクアプリケーションは TeamViewer クイックサポートプログラムを起動します。これは、シンプルで高速かつ安全なリモートコントロールインターフェースです。TeamViewer ソフトウェアを介して PC で MaxiSys タブレットを制御できるようにすることで、アプリケーションを使用して、Autel のサポートセンター、同僚、または友人からアドホックリモートサポートを受けることができます。

### 1.31 操作

TeamViewer 接続を通話と考える場合、TeamViewer ID は、すべての TeamViewer クライアントに個別にアクセスできる電話番号になります。TeamViewer を実行するコンピューターとモバイルデバイスは、グローバルに一意の ID によって識別されます。リモートデスクアプリケーションを初めて起動すると、この ID はハードウェアの特性に基づいて自動的に生成され、後で変更されることはありません。

リモートデスクアプリケーションを起動する前に、ディスプレイタブレットがインターネットに接続されていることを確認してください。これにより、サードパーティからリモートサポートを受けるためにディスプレイタブレットにアクセスできます。

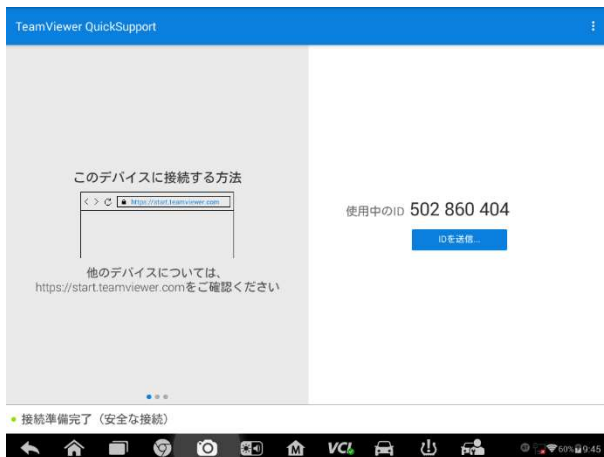


図 12-1 リモートデスク画面のサンプル

➤ パートナーからリモートサポートを受けるには

1. ディスプレイタブレットの電源を入れます。
2. MaxiSys ジョブメニューで**リモートデスクアプリケーション**をタップします。TeamViewer インターフェースが表示され、デバイス ID が生成されて表示されます。
3. サポートを提供し、ディスプレイタブレットをリモートで制御するために、パートナーは、TeamViewer フルバージョンプログラムをオンライン (<http://www.teamviewer.com>) でダウンロードしてリモートコントロールソフトウェアを自分のコンピューターにインストールし、そのコンピューターで同時にソフトウェアを起動する必要があります。
4. パートナーに ID を提供し、パートナーがリモートコントロールリクエストの送信を待ちます。
5. デバイスのリモート制御を許可するための確認を求めるポップアップが表示されます。
6. **許可**をタップして受け入れるか、**拒否**をタップして拒否します。

追加情報については、関連する TeamViewer ドキュメントを参照してください。

## 第 13 章 クイックリンク操作

クイックリンクアプリケーションは、Autel の公式ウェブサイトや自動車サービスのその他の多くの有名なサイトへの便利なアクセスを提供し、技術的なヘルプ、知識ベース、フォーラム、トレーニング、専門家の相談など、豊富な情報とリソースを提供します。



図 13-1 クイックリンク画面のサンプル

### ➤ クイックリンクを開くには

1. MaxiSys ジョブメニューの**クイックリンク**アプリケーションをタップします。クイックリンクアプリケーション画面が表示されます。
2. メインセクションからウェブサイトのサムネイルを選択します。組み込みのAndroidブラウザが起動し、選択したウェブサイトが開きます。
3. これで、ウェブサイトの探索を開始できます！

## 第 14 章 メンテナンスとサービス

MaxiSys 診断タブレットが最適なレベルで動作することを保証するために、このセクションに記載されている製品メンテナンス手順を読み、それに従うことをお勧めします。

### 1.32 メンテナンス手順

以下は、デバイスのメンテナンス方法と注意事項を示しています。

- 柔らかい布とアルコールまたは中性の窓用洗剤を使用して、タブレットのタッチスクリーンを清掃します。
- タブレットに研磨剤、洗剤、自動車用化学薬品を使用しないでください。
- デバイスを乾燥した状態に保ち、通常の動作温度内に保ちます。
- タブレットを使用する前に手を乾かしてください。タッチスクリーンが湿っていたり、濡れた手でタッチスクリーンをタップしたりすると、タブレットのタッチスクリーンが機能しないことがあります。
- 湿気の多い場所、ほこりの多い場所、汚れた場所にデバイスを保管しないでください。
- 使用前後に、ハウジング、配線、コネクタに汚れや損傷がないか確認してください。
- 毎日の終わりに、湿らせた布でデバイスのハウジング、配線、およびコネクタをきれいに拭きます。
- タブレットを分解しないでください。
- 落としたり、デバイスに深刻な影響を与えたりしないでください。
- 認可されたバッテリー充電器とアクセサリのみを使用してください。許可されていないバッテリー充電器とアクセサリの使用によって引き

起こされた誤動作または損傷は、限定製品保証を無効にします。

- バッテリー充電器が導電性物体に接触しないようにしてください。
- 信号の干渉を防ぐために、電子レンジ、コードレス電話、一部の医療機器または科学機器のそばでタブレットを使用しないでください。

## 1.33 トラブルシューティングのチェックリスト

### A. ディスプレイタブレットが正常に動作しない場合：

- タブレットがオンラインで登録されていることを確認してください。
- システムソフトウェアと診断アプリケーションソフトウェアが適切に更新されていることを確認してください。
- タブレットがインターネットに接続されていることを確認してください。
- すべてのケーブル、接続、およびインジケータをチェックして、信号が受信されているかどうかを確認します。

### B. バッテリーの寿命が通常より短い場合：

- これは、信号強度の低いエリアにいるときに発生する可能性があります。使用していない場合はデバイスの電源を切ります。

### C. タブレットの電源をオンにできない場合：

- タブレットが電源に接続されているか、バッテリーが充電されていることを確認してください。

### D. タブレットを充電できない場合：

- 充電器が故障している可能性があります。最寄りの販売店にお問い合わせください。
- デバイスを過度の高温/低温で使用しようとしている可能性があります。充電環境を変更してみてください。
- デバイスが充電器に正しく接続されていない可能性があります。コネクタを確認してください。

---

**注：**問題が解決しない場合は、Autel のテクニカルサポート担当者または最寄りの販売代理店にお問い合わせください。

---

## 1.34 バッテリーの使用について

タブレットは、内蔵のリチウムイオンポリマー電池で駆動します。これは、他の形式のバッテリーテクノロジーとは異なり、これらのテクノロジーに固有の「バッテリーメモリー効果」により、タブレットの自律性を低下させることなく、充電を維持しながらバッテリーを充電できることを意味します。

**⚠ 危険**：内蔵のリチウムイオンポリマーバッテリーは工場でのみ交換可能です。バッテリーパックを誤って交換したり、改ざんしたりすると、爆発の原因になることがあります。

- 損傷した充電器を使用しないでください。
- 押しつぶしたり、曲げたり、変形したり、穴を開けたり、細断したりしないでください。
- 変更したり、再製造したり、バッテリーに異物を挿入したり、火災、爆発、その他の危険にさらさないでください。
- パッケージに同梱されている充電器と USB ケーブルのみを使用してください。他の充電器と USB ケーブルを使用すると、デバイスの誤動作や障害が発生する可能性があります。
- 標準のデバイスで認定された充電デバイスのみを使用してください。認定されていないバッテリーまたは充電器を使用すると、火災、爆発、漏れ、またはその他の危険が生じる可能性があります。
- タブレットを落とさないでください。タブレットを特に硬い表面に落とした場合、ユーザーが損傷を疑う場合は、点検のためにサービスセンターに持って行きます。
- ネットワークのベースステーションに近いほど、接続に使用されるバッテリー電力が少なくなるため、タブレットの使用時間が長くなります。
- バッテリーの充電時間は、バッテリーの残量によって異なります。
- バッテリーの寿命は、時間の経過とともに必然的に短くなります。
- 過充電はバッテリーの寿命を短くする可能性があるため、完全に充電されたらタブレットを充電器から取り外します。充電が完了したら、充電器を取り外します。
- 特に夏や冬に車の中や暑い場所や寒い場所にタブレットを放置すると、バッテリーの容量と寿命が短くなる場合があります。バッテリーは常に常温に保ってください。

## 1.35 サービス手順

このセクションでは、技術サポート、修理サービス、および交換部品またはオプション部品の申請に関する情報を紹介します。

### 技術サポート

製品の操作に関して質問または問題がある場合は、以下をご覧ください。

- 電話番号 1-855-288-3587 / 1-855-AUTELUS（北アメリカ）、  
または 0086-755-86147779（中国）。
- ローカルのディストリビューターまたはエージェントにご連絡ください。
- 当社のウェブサイト <http://pro.autel.com> または [www.autel.com](http://www.autel.com) にアクセスしてください。

### 修理サービス

修理のためにデバイスを返却する必要がある場合、[www.autel.com](http://www.autel.com) から修理サービスフォームをダウンロードし、フォームに記入してください。次の情報を含める必要があります。

- 連絡先
- 返品住所
- 電話番号
- 商品名
- 問題の完全な説明
- 保証修理のための購入証明
- 非保証修理の支払いの好ましい方法

---

**注：**保証対象外の修理については、Visa、Master Card、または承認されたクレジット条件でお支払いいただけます。

---

**デバイスをローカルエージェントまたは以下のアドレスに送信します。**

中国深セン市南山区西麗街道学苑大道 1001 号南山智園 B1 棟 6-10 階  
〒518055

### 他のサービス

オプションのアクセサリは、Autel の認定ツールサプライヤー、および/ま

たは最寄りの販売代理店または代理店から直接購入できます。

注文書には次の情報が含まれている必要があります。

- 連絡先
- 製品名または部品名
- アイテム説明
- 購入数量

## 第 15 章 コンプライアンス情報

### FCC コンプライアンス

FCC ID : WQ8MAXISYSMY906

この装置はテスト済みであり、FCC 規則のパート 15 に基づくクラス B デジタルデバイスの制限に準拠していることが確認されています。これらの制限は、住宅への設置において有害な干渉から適切に保護するように設計されています。この装置は無線周波数エネルギーを放射します。指示に従って設置および使用しないと、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置で干渉が発生しないという保証はありません。この機器がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合（機器の電源をオン/オフすることで確認できます）、ユーザーは以下の 1 つ以上の手段で干渉を修正することをお勧めします。

- 受信アンテナの向きを変えるか、再配置します。
- 機器と受信機の間隔を広げます。
- ディーラーまたは経験のあるラジオ/テレビ技術者に相談してください。

このデバイスは、FCC 規則のパート 15 に準拠しています。操作は、次の 2 つの条件に従います。

(1) このデバイスは有害な干渉を引き起こしてはなりません。(2) このデバイスは、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信した干渉を受け入れなければなりません。

コンプライアンスの責任者によって明示的に承認されていない変更または修正を行うと、機器を操作するユーザーの権限が無効になる場合があります。

### SAR :

このデバイスの放射出力は、FCC の無線周波数暴露制限を下回っています。念のため、デバイスは、通常の操作中に人との接触の可能性が最小限になるように使用する必要があります。

ワイヤレスデバイスの露出基準は、比吸収率 (SAR) と呼ばれる測定単位を採用しています。FCC によって設定された SAR 制限は 1.6 W / Kg です。SAR のテストは、FCC によ



って受け入れられた標準動作位置を使用して行われ、デバイスは、テストされたすべての周波数帯域で最高の認証された電力レベルで送信します。SAR は認定された最高の電力レベルで決定されますが、動作中のデバイスの実際の SAR レベルは最大値を大きく下回る場合があります。これは、ネットワークに到達するために必要な電力のみを使用するように、デバイスが複数の電力レベルで動作するように設計されているためです。 FCC の無線周波数暴露の制限を超える可能性を回避するには、アンテナへの人の近接を最小限に抑える必要があります。

## 第 16 章 保証

### 12 か月の限定保証

Autel Intelligent Technology Corp.、Ltd.（当社）は、この MaxiSysMS906 診断デバイスの最初の小売購入者に通常の使用および通常の条件下で、この製品またはその一部が、製品の故障につながる材料または仕上がり欠陥があることが証明されることを保証します。購入日から 12 か月以内に、そのような欠陥は、当社の選択により、修理または購入証明と交換（新しい部品または再構築部品で）されます。

当社は、デバイスの使用、誤用、または取り付けに起因する偶発的または間接的な損害について責任を負いません。一部の地域では、黙示の保証期間の制限を許可していないため、上記の制限が適用されない場合があります。

#### この保証は以下には適用されません。

- a) 異常な使用または状態、事故、誤操作、放置、無許可の変更、誤用、不適切な設置または修理または不適切な保管を受けた製品。
- b) 機械的シリアル番号または電子シリアル番号が削除、変更、または破損された製品。
- c) 過度の温度または極端な環境条件への暴露による損傷。
- d) 当社が承認または承認していないアクセサリまたはその他の製品への接続、または使用から生じる損傷。
- e) 外観、化粧品、装飾品、または構造部品（フレーム部品や非動作部品など）の欠陥。
- f) 火災、汚れ、砂、バッテリーの漏出、切れたヒューズ、盗難、または電源の不適切な使用などの外部原因により損傷した製品。

---

**重要：**製品のすべての内容は、修理中に削除される場合があります。保証サービスのために製品を提供する前に、製品の内容のバックアップコピーを作成する必要があります。

---